

### 3 . P I 実施結果

- 周知広報活動実施結果
- P I レポート配布実施結果
- インフォメーションコーナー実施結果
- 説明会実施結果
- 出前説明会実施結果
- 懇談会実施結果
- 公開懇話会実施結果
- オープンハウス実施結果
- 福岡空港見学会実施結果
- 福岡空港意見発表会実施結果

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 周知広報活動 実施結果

# 1. 周知広報活動実施結果

PI活動に関する新聞広告を実施しました。

表 1 新聞広告掲載紙と掲載日

掲載紙	掲載日
西日本新聞	平成 19 年 9 月 11 日朝刊 半 5 段広告
読売新聞	
朝日新聞	

## 福岡空港の総合的な調査に、あなたのご意見を。

福岡空港の将来の混雑問題などに対応するため、国、福岡県、福岡市では、福岡空港の総合的な調査として、「近隣空港との連携」「滑走路の増設」「新空港」などの検討をしています。この調査は、4つの段階(ステップ)を踏んで、調査内容の情報を提供し、ご意見募集を行っています。今回は、4つのステップのうち、3番目のステップにあたります。

**ステップ1**  
課題と実現すべき政策的目標  
終了しました

**ステップ2**  
対応案を検討するための前提条件  
終了しました

**ステップ3(現在)**  
評価の視点と検討すべき対応案

**ステップ4**  
対応案の比較評価と方向性(案)

みなさんへの情報提供・ご意見収集の方法と箇所

**意見発表会** 意見発表会「福岡空港PIどんたく」を開催します。  
●開催日：平成19年11月5日(月)13:00-16:00(開場12:30) ●会場：アクロス福岡(大会議室) ●入場：無料

**福岡空港見学会** 福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局(博多港湾・空港整備事務所)にて、開設します。  
●募集人数：40名(中学生以上を対象)  
●応募締切：9月28日(金)必着(先着順)

**福岡市内**

- あいれふ**(福岡市中央区舞鶴)  
9月20日(木) 18:00~19:30
- 三越ライオン広場**(福岡市中央区)  
9月23日(日)、24日(祝) 10:00~19:00
- ショッパーズモールマリナタウン**(福岡市西区)  
10月27日(土)、28日(日) 10:00~19:00

**福岡地区**

- まどかぴあ**(大野城市)  
10月8日(祝) 14:30~16:00
- THE MALL春日**(春日市)  
9月29日(土)、30日(日) 10:00~19:00
- 福岡東サティ**(糟屋郡志免町)  
10月6日(土)、7日(日) 10:00~19:00

**北九州地区**

- KMMビル4階会議室**(小倉駅北口)  
10月3日(水) 18:00~19:30
- リバーウォーク北九州**(北九州小倉北区)  
9月29日(土)、30日(日) 10:00~19:00

**筑豊地区**

- 飯塚市市民交流プラザ(あいタウン2階)**  
9月25日(火) 18:00~19:30
- イオンショッピングタウン穂波**(飯塚市)  
10月13日(土)、14日(日) 10:00~19:00

**筑後地区**

- 六ツ門大学(久留米井筒屋裏)**  
10月5日(金) 15:30~17:00
- ゆめタウン久留米**(久留米市)  
10月13日(土)、14日(日) 10:00~19:00

**その他の地区**

- ゆめタウン佐賀**(佐賀市)  
10月6日(土)、7日(日) 10:00~19:00

※ 事前申し込みが必要\*です。

※ お申し込み方法や各催しの詳細につきましては、福岡県、福岡市にお問合せ下さい。また、福岡空港調査連絡調整会議ホームページでもご紹介しています。ご意見も提出できます。

福岡空港調査  検索

一般市民の方から発表者を募集\*します。

福岡空港調査連絡調整会議

**福岡空港調査連絡調整会議**  
<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

国土交通省九州地方整備局(空港PT室)  
TEL:092-752-8601 FAX:092-724-2480

国土交通省大阪航空局(空港企画調整課)  
TEL:06-6949-6469 FAX:06-6949-6218

福岡県空港対策局空港計画課  
TEL:092-643-3172 FAX:092-643-3217

福岡市総務企画局空港将来方策担当  
TEL:092-711-4102 FAX:092-733-5582

図 1 新聞広告

雑誌広告

PI活動に関する雑誌広告を実施しました。

表 2 雑誌広告掲載紙発行日と発行部数

掲載誌	発行日	発行部数
ぐらんざ 10月号 1/2 広告	平成 19 年 9 月 20 日	160,000 部
リビング福岡 (中央・西・南・東) 「PICKUP まいたうん」面の 1 枠	平成 19 年 9 月 22 日	リビング福岡： 中央・西 222,850 部 南 201,530 部 東 83,700 部

## 「福岡空港の総合的な調査」では、皆様のご意見を募集しています。

**福岡空港では、将来の混雑問題などへの対応方を調査・検討しています。**

この調査は現状、需要予測など基本的なところから、4つの段階を踏んでご意見をいただきながら進めています。今回は、対応案の概要と対応案を評価する視点について調査結果をとりまとめ、PIレポートとして情報提供し、ご意見を募集します。



**4つの段階のうち、今回は3番目のステップです。**

今回は、検討すべき対応案と対応案を評価する視点などについて、検討しています。

**ステップ1**  
現状と課題、空港能力の見極め等  
**終了しました**

**ステップ2**  
地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測  
**終了しました**

**ステップ3 (今回)**  
検討すべき対応案、評価の視点

**ステップ4**  
対応案の比較評価と方向性(案)

**PIの催しは県下全域で実施予定です。**

**意見発表会** 意見発表会 ●開催日:11月5日(月)13:00~16:00  
発表会 福岡空港PIどんたく-開催! ●会場:アクロス福岡(大会議室)

**福岡空港・福岡県庁・福岡市役所・九州地方整備局(博多港湾・空港整備事務所)にて、開設。**

**福岡市内**

**説明会** あいれふ(福岡市中央区舞鶴) 9月20日(木) 18:00~19:30

**オープンハウス** 三越ライオン広場 9月23日(日)、24日(祝)

**オープンハウス** ショッピングモールマリナタウン 10月27日(土)、28日(日)

**福岡地区**

**説明会** まどかびあ(大野城市) 10月8日(祝) 14:30~16:00

**オープンハウス** THE MALL春日 9月29日(土)、30日(日)

**オープンハウス** 福岡東サティ 10月6日(土)、7日(日)

**北九州地区**

**説明会** KMMビル4階会議室(小倉駅北口) 10月3日(水) 18:00~19:30

**オープンハウス** リバーウォーク北九州 9月29日(土)、30日(日)

**筑豊地区**

**説明会** 飯塚市市民交流プラザ(あけみん) 9月25日(火) 18:00~19:30

**オープンハウス** イオンショッピングタウン穂波 10月13日(土)、14日(日)

**筑後地区**

**説明会** 六ツ門大学(久留米井筒屋裏) 10月5日(金) 15:30~17:00

**オープンハウス** ゆめタウン久留米 10月13日(土)、14日(日)

**PIレポートは、以下で入手できます。**

街頭配布、PIの催し、インフォメーションコーナー、福岡県、福岡市の情報コーナー、県内各市町村の窓口などで提供しています。また、ホームページでもご覧いただけ、ご意見も提出できます。

総合窓口 **福岡空港調査連絡調整会議** 国土交通省九州地方整備局(空港PI室) 福岡県空港対策局空港計画課  
 TEL:092-752-8601 FAX:092-724-2480 TEL:092-643-3172 FAX:092-643-3217  
 国土交通省大飯航空局(空港企画調整課) 福岡市総務企画局空港将来方策担当  
 TEL:06-6949-8469 FAX:06-6949-6218 TEL:092-711-4102 FAX:092-733-5582

ホームページ <http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

図 2 雑誌広告(ぐらんざ)

福岡空港調査連絡調整会議 ☎092(643)3172

**福岡空港の調査について意見を募集しています!**

福岡空港調査連絡調整会議(国土交通省、福岡県、福岡市)では、福岡空港の混雑対応策として、「近隣空港との連携」「滑走路の増設」「新空港」などの検討をしています。

この検討は現状、需要予測など基本的なところから4つの段階を踏んで進められています。今回は対応案の概要と対応案を評価する視点についての調査結果をPIレポートとして情報提供し、意見を募集しています。

PIレポートは、街頭配布やPIの催し、ホームページ、インフォメーションコーナー、福岡県、福岡市、県内各市町村の窓口などで提供されています。詳しくは<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>へ。

総合的な調査の4つの段階

ステップ1(終了) 現状と課題、空港能力の見極めなど

ステップ2(終了) 地域の将来像と福岡空港の役割、航空需要の将来予測

ステップ3(今回) 検討すべき対応案、評価の視点

ステップ4 対応案の比較評価、方向性案

インフォメーションコーナー-福岡空港

(午前9時~午後5時)、福岡県、福岡市・博多港湾空港整備事務所(西行所)、福岡市博多区東公園

図 3 雑誌広告(リビング福岡)

## ラジオ広告

PI活動に関するラジオ広告を実施しました。

表 3 ラジオ広告放送局と放送日

放送局	放送日	放送時間
RKBラジオ	平成19年9月18日～10月16日	20秒(平日)合計20本
LOVE-FM	平成19年9月20日～9月30日	60秒, (日本語+英語、日本語 +中国語、日本語+韓国語) 合計107本

表 4 ラジオ広告の放送内容(RKBラジオ)

国、福岡県、福岡市では福岡空港の調査を行っています。将来の混雑問題への対応策などに関する調査結果について、説明会などを実施し、ご意見をうかがいます。お問い合わせは、福岡県空港計画課まで。(約20秒)

表 5 ラジオ広告の放送内容(LOVE-FM 日本語)

### <調査結果周知編>

福岡空港の混雑問題について、国土交通省・福岡県・福岡市が協力して現空港の有効活用や拡張の可能性、近隣空港との連携、新空港の建設などについて調査を行っています。

詳しくお知りになりたい方は県庁、各市区町村の広報窓口にある調査レポートまたはホームページを「福岡空港調査」で検索してご覧ください。

### <イベント告知編>

福岡空港が抱える課題解決へ向けた調査の途中経過について、皆さんに情報提供を行うイベントが今月下旬より福岡県内を中心に開催されます。

詳しいスケジュール、開催場所は県庁、各市区町村の広報窓口にあるチラシまたは「福岡空港調査」でホームページを検索してふるってご参加ください。

### <意見募集編>

福岡空港の混雑問題について、国土交通省・福岡県・福岡市が協力して調査を行っています。今回「福岡空港の将来対応方策案」などの検討結果について市民の皆さんからご意見募集します。

詳しくは県庁、各市区町村の広報窓口にある調査レポートまたはホームページを「福岡空港調査」で検索してご意見をお寄せください。

表 6 ラジオ広告の放送内容 ( LOVE - FM 英語 )

- 1)  
Regarding congestion problems at the airport, the Ministry of Land, Infrastructure and Transport, together with Fukuoka City, are looking into solutions. Possibilities include: expansion, connecting with nearby airports, and construction of a new airport. For more information, pick up the report, at the public relations counter of any Fukuoka prefecture, city, or town office. You can also check the web by typing in "Fukuoka Kuko Cho-sa" on any major search engine.
  
- 2)  
To provide information about what investigative steps are being taken toward solving congestion problems at Fukuoka Airport, an event will be held, starting at the end of this month. For more information, pick up a leaflet, at the public relations counter of any Fukuoka prefecture, city, or town office. You can also check the web by typing in "Fukuoka Kuko Cho-sa" on any major search engine. And, please do participate in the event.
  
- 3)  
Regarding congestion problems at the airport, the Ministry of Land, Infrastructure and Transport, along with Fukuoka city, invites public opinion. Ideas and solutions towards the further handling of the Fukuoka Airport are requested. For more information, pick up a leaflet, at the public relations counter of any Fukuoka prefecture, city, or town office. You can also check the web by typing in "Fukuoka Kuko Cho-sa" on any major search engine. Please give your opinion.

表 7 ラジオ広告の放送内容 ( LOVE - FM 中国語 )

国土交通省,福岡県,福岡市が改善福岡機場の拥挤現状,现就現有機場的合理使用,扩充的可能性,和周圍機場的合作,新機場的建設等問題,展開調查.想了解有關詳情的朋友,請您去縣廳,各市區町村的廣報窗口領取調查報告,或輸入關鍵詞匯[福岡機場調查]直接上網查閱,

為改善福岡機場的拥挤現状而實施的調查的進展如何,您一定關注這件事吧,有關部門從本月下旬開始在福岡縣內通過各種活動向大家匯報其進展情況.有關活動日程,地點等,請參照縣廳,各市區町村的廣報窗口頒發的材料,或輸入關鍵詞匯[福岡機場調查]直接上網查閱,

国土交通省,福岡県,福岡市就福岡機場的拥挤情況展開調查,現將[福岡機場的未來對策]等調查結果匯報給大家,以聽取市民朋友們的意見.有關詳情請您參考縣廳,各市區町村的廣報窗口提供的調查報告,或輸入關鍵詞匯[福岡機場調查]直接上網查閱

表 8 ラジオ広告の放送内容 ( LOVE - FM 韓国語 )

1. 후쿠오카 공항의 혼잡문제에 대해  
국토교통성/후쿠오카현/후쿠오카시가 협력하여  
현공항의 유효활용과 확장 가능성, 부근공항과의 연대,  
신공항 건설 등에 대해 조사하고 있습니다.  
자세한 사항이 궁금하신 분은  
후쿠오카 현청, 각 시, 구, 정, 촌의 홍보창구에 있는  
조사 리포트를 보시거나  
<후쿠오카 공항조사>로 홈페이지를 검색하시기 바랍니다.
2. 후쿠오카 공항의 과제를 해결하기 위한 조사의 중간경과에 대해  
여러분에게 정보를 제공해 드리는 행사가  
이번달 하순부터 후쿠오카현내를 중심으로 개최됩니다  
자세한 일정과 개최장소는  
후쿠오카 현청, 각 시, 구, 정, 촌의 홍보창구에 있는  
조사 리포트를 보시거나  
<후쿠오카 공항조사>로 홈페이지를 검색하여 참가해 주시기 바랍니다.
3. 후쿠오카 공항의 혼잡문제에 대해  
국토교통성/후쿠오카현/후쿠오카시가 협력하여  
조사하고 있습니다.  
이번에 <후쿠오카 공항의 장래대응방책안> 등 검색결과에 대해  
시민 여러분들의 의견을 모집합니다.  
자세한 내용은  
후쿠오카 현청, 각 시, 구, 정, 촌의 홍보창구에 있는  
조사 리포트를 보시거나  
<후쿠오카 공항조사>로 홈페이지를 검색하시기 바랍니다.

### ③ テレビ広告

PI活動に関するテレビ広告を実施しました。

表 9 テレビCM放送局と放送日

放送局	放送日	放送時間
TNCテレビ西日本	平成19年9月23日～9月29日	15秒スポット×16本
FBS福岡放送	平成19年9月23日～9月29日	15秒スポット×21本
KBC九州朝日放送	平成19年9月23日～9月29日	15秒スポット×17本



図 4 テレビCM (一部)

### テレビ番組

PI活動に関する告知をテレビで放送しました。

表 10 テレビ番組放送局と放送日

放送局	放送日	放送時間
TNCテレビ西日本 「フレッシュ！ふくおか県」	平成19年10月7日	8:55～9:00(5分)
FBS福岡放送局 「金曜トレビアン」番組内告知	平成19年10月26日	9:55～10:50(30秒)

表 11 テレビ番組内での告知内容(FBS福岡放送局「金曜トレビアン」)

福岡空港の混雑問題などに対応するため、国、福岡県、福岡市では、福岡空港の総合的な調査を実施しています。今回のパブリック・インボルブメント(ステップ3)では、福岡空港の「将来需要への対応方策の検討」および「将来対応方策の評価の視点」について、みなさんのご意見をお伺いしています。お問い合わせは、福岡県空港計画課まで(092-643-3172) (約30秒)

### チラシ街頭配布

福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要駅等（25ヶ所）で街頭配布を実施しました。また、県内市町村、中学校、高等学校、大学等にチラシを配布しました。

表 12 チラシ街頭配布箇所

	配布箇所	配布日	配布日 (PIレポートに同封)
福岡市内	福岡空港 第1ビル	平成19年9月10日、 9月15日	9月18日、9月22日、 10月22日
	福岡空港 第2ビル、第3ビル	平成19年9月10日、 9月15日	9月18日、9月22日、 10月22日
	福岡空港 国際線	平成19年9月10日、 9月15日	9月18日、9月22日
	JR博多駅	平成19年9月10日、 9月15日	9月18日、9月22日
	地下鉄天神駅	平成19年9月12日、 9月15日	9月18日、9月22日、 9月26日
	西鉄福岡駅	平成19年9月12日	9月18日、9月26日
	JR香椎駅	平成19年9月12日	9月21日
福岡地区	JR筑前前原駅	平成19年9月11日	9月21日、10月2日
	西鉄二日市駅	平成19年9月11日	9月20日、10月2日
	西鉄春日原		9月25日
北九州地区	JR小倉駅	平成19年9月12日、 9月15日	9月21日、9月22日
	JR行橋駅	平成19年9月12日	9月21日、10月2日
	JR宇島駅	平成19年9月12日	9月21日、10月2日
筑豊地区	JR新飯塚駅	平成19年9月13日	9月19日、9月26日
	西鉄飯塚バスセンター	平成19年9月13日	9月19日、9月26日
	JR直方駅	平成19年9月13日	9月19日
	JR田川後藤寺駅	平成19年9月13日	9月19日
筑後地区	西鉄久留米駅	平成19年9月11日	9月20日、9月25日
	西鉄柳川駅	平成19年9月11日	9月20日
	JR大牟田駅・西鉄大牟田駅	平成19年9月11日	9月20日
その他	JR鳥栖駅	平成19年9月11日	9月20日
	JR唐津駅	平成19年9月12日	9月21日
大学	北九州市立大学		10月2日
	福岡大学		9月25日
	九州産業大学		9月25日

表 13 主なチラシ配布箇所

配布箇所	
市町村	福岡県内の全市町村
中学校	福岡県内の全中学校
高等学校	福岡県内の全高校
大学	福岡市内の全大学（短大を除く）及び福岡県内の国公立大学



ポスター配布  
県内市町村、中学校、高等学校、大学等にポスターを配布しました。

表 14 ポスター配布箇所

配布箇所	
市町村	福岡県内の全市町村
中学校	福岡県内の全中学校
高等学校	福岡県内の全高校
大学	福岡市内の全大学(短大除く)および福岡県内の国公立大学

# 福岡空港の総合的な調査

みなさんのご意見を募集しています。



**P1(ステップ3)：考えられる対応案の概要と評価するにあたっての視点を検討しています。**

福岡空港の将来の課題などに対応するため、福岡県、福岡市では、福岡空港の総合的な調査として、「近隣空港との連携」「滑走路の増設」「新空港」などの検討を行っています。この調査にあたっては、4つの段階(ステップ)を踏みながら、みなさんへの積極的な情報の提供と意見募集を行っています。今回は、3番目のステップとして、検討すべき対応案と対応案を評価する視点について、わかりやすく取りまとめ、P1レポート(ステップ3)として情報提供します。

※ P1(リフレクティブコメント)とは、みなさんに積極的に情報を提供し、ご意見をいただくことができる検討していく方法です。

### みなさんへの情報の提供とご意見の募集はこちらで行っています。

インフォメーションコーナー、説明会、オープンハウスへは、会場や時間をご確認の上、もよりの会場へお越しください。

**福岡県内**

- 福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局(博多港・空海整備事務所)にて開設!
- 福岡市内
  - あいち(福岡市中央区舞鶴) 9月20日(木) 10:00~19:30
  - 三好タイムインビル(福岡市中央区) 9月22日(日)、24日(祝) 10:00~19:00
  - ジョーパースモールマリナタウン(福岡市南区) 10月27日(土)、28日(日) 10:00~19:00
- 福岡地区
  - まどかびあ大会議室(大野城市) 10月5日(祝) 14:30~18:00
  - 7E 8&I 春日(春日市) 9月25日(土)、26日(日) 10:00~19:00
  - 福岡東サティ(福岡県糸島市) 10月4日(土)、7日(日) 10:00~19:00

**北九州地区**

- KMMビル4階会議室(小倉駅北口) 10月3日(水) 18:00~19:30
- リバーウォーク北九州(小倉北区) 9月29日(土)、30日(日) 10:00~19:00

**筑豊地区**

- 飯塚市市民交流プラザ(飯塚市) 9月26日(土) 18:00~19:30
- イオンショッピングタウン鹿島(鹿島市) 10月13日(土)、14日(日) 10:00~19:00

**筑後地区**

- 六ツ井大学(久留米市) 10月5日(祝) 14:30~18:00
- ゆめタウン久留米(久留米市) 10月13日(土)、14日(日) 10:00~19:00

**その他の地区**

- ゆめタウン佐賀(佐賀市) 10月10日(土)、7日(日) 10:00~19:00

**意見募集会**  
-福岡空港P1どんたく-開催!!

福岡空港の将来のあり方などについて、市民等のみならず、に研究結果を自由に発表していただき、一般参加者をのぞいた中で意見交換を行います。

- 開催日：平成19年11月5日(月)15:00~18:00(開催12:30)
- 会場：アークス福岡(大会議室) ● 入場：無料

**意見発表者募集!!**

- 募集人数：10名程度
- 選考方法：原則、先着順。ただし、発表内容のバランスを考慮の上、発表者を選出する場合があります。
- 募集期間：平成19年10月21日(日) 10:00~16:00(予定)
- 申込方法：福岡市へお問い合わせいただくか、福岡空港調査連絡調整会議ホームページをご覧ください。

**福岡空港見学会参加者募集!!**

福岡空港や新北九州空港の見学を行います。

- 開催日：平成19年10月21日(日) 10:00~16:00(予定)
- 募集人数：40名(中学生以上を対象)
- 応募締切：9月26日(金) 必着(先着順)
- 申込方法：福岡市へお問い合わせいただくか、福岡空港調査連絡調整会議ホームページをご覧ください。

**各種催しのお申し込み・お問い合わせ先**

- 郵送(郵便番号とあて名が必要です)
- 〒812-8577 福岡県空港調査連絡調整P1 担当あて
- 〒813-8520 福岡市博多区福岡空港調査対策実施担当あて
- アクセス Eメール
- お問い合わせ 092-643-3217 福岡県 kuko2@pref.fukuoka.jp
- 福岡市 092-733-5582 福岡市 kuko@city.fukuoka.jp

上記イベントの詳細やP1レポートは、P1の催し、インフォメーションコーナー、福岡県、福岡市の情報コーナー、県内各市町村の窓口などで提供しています。また、これら情報は、ホームページでもご覧いただけます。みなさんのご意見も提出できます。

問い合わせ先  
**福岡空港調査連絡調整会議**  
ホームページ <http://www.fukuokakuko-chosa.org/>

国土交通省九州地方整備局(空港PT室)  
〒818-8074 福岡市中央区天神2-8-33  
TEL:092-782-8981 FAX:092-724-2480

国土交通省大塚航空空間(空港企画調整課)  
〒840-8559 大塚市中央区天神4-1-76  
TEL:09-6849-6459 FAX:09-6849-8218

福岡県空港対策局空港計画課  
〒812-8577 福岡市博多区舞鶴公園7-7  
TEL:092-643-3172 FAX:092-643-3217

福岡市空港企画調整局空港対策実施担当  
〒813-8520 福岡市博多区福岡空港調査対策実施担当  
TEL:092-733-5582 FAX:092-733-5582

図 6 ポスター

行政だより配布等

行政だより

PI活動に関する告知を九州地方整備局、福岡県、福岡市の行政だよりに掲載しました。

表 15 行政だより発行日と配布数

行政だより名	発行日	配布数
九州地方整備局港湾空港部情報誌 「プエルト」2007.10 No.65、2007.11 No.66	平成19年9月25日、10月26日	約6,800部
福岡県だより 2007年7月号	平成19年7月1日	約200万部
ふくおか市政だより 2006年9月1日号、9月15日号、10月15日号	平成19年9月1日、9月15日、10月15日	約67万部

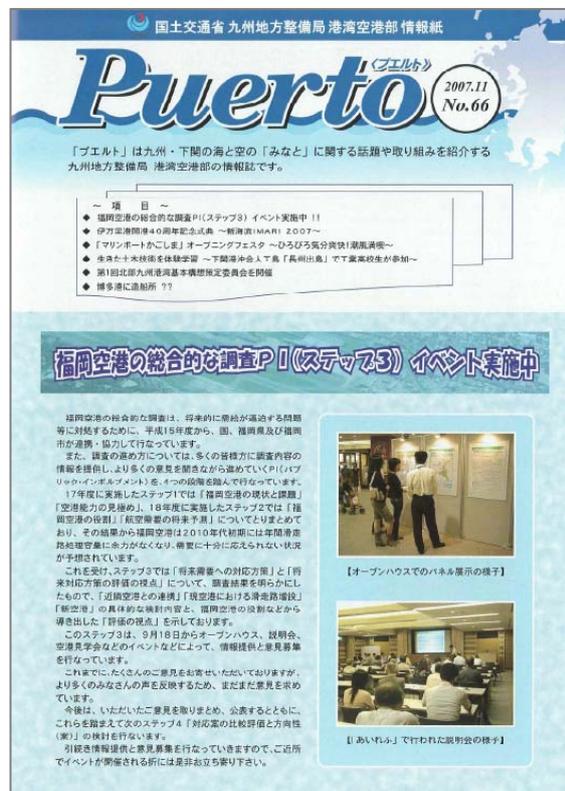


図 7 行政だより（九州地方整備局港湾空港部情報誌「プエルト」左：10月号、右：11月号）

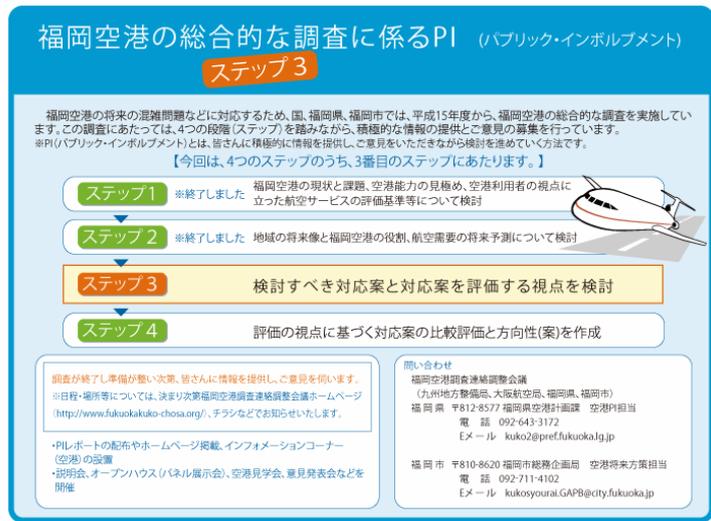


図 8 行政だより(福岡県だより 2007年7月号)



**催し 福岡空港の将来のあり方を考えるイベント(PIステップ3)**

【①説明会】調査結果を分かりやすく説明。9月20日(中央区舞鶴2) 【②オープンハウス】調査結果についてのパネル展など。9月23日(24)日(中央区天神2) 【③空港見学会】福岡空港や新北九州空港を見学。集合は福岡空港第3ターミナル。10月21日(中央区天神1) 【④意見発表会】研究結果を自由に発表していただきます。11月5日(中央区天神1) 【⑤空港将来方策担当】 ☎711-4102 ☎733-5588

①中学生以上 ②40人 ③発表者10人、傍聴者100人 ④無料 ⑤⑥不要 ⑦はがき

(〒810-8620住所不要)がファクス、メール(kukosyourai.GAPB@city.fukuoka.jp)で9月28日(必着)までに同担当へ④向担当(市役所8階)などで配布する所定の申込書を10月5日(必着)までに同担当へ(傍聴希望者は申込み不要)。

調査結果を分かりやすくまとめたPIレポートは、情報プラザ(市役所1階)、各区市民相談室などで9月中旬以降に配布。

アジアのエアラインが並び福岡空港国際線ターミナル

図 9 行政だより(ふくおか市政だより 左上: 9/1、左下: 9/15、右: 10/15)

ケーブルテレビ番組  
PI活動に関するテレビ放送を実施しました。

表 16 テレビ番組放送局と放送日

放送局	放送日	放送回数
J : COM福岡	平成 19 年 10 月 5 日 ~ 11 日	1 日 3 回
F C V	平成 19 年 10 月 5 日 ~ 11 日	1 日 3 回

国際交流機関広報誌への掲載

PI活動に関する告知を国際交流機関広報誌に掲載しました。

表 17 掲載誌と発行部数

国際交流機関広報誌名	発行日	発行部数
こくさいひろば ( (財) 福岡県国際交流センター )	平成 19 年 9 月発行	英語 4,500 部 中国語 2,000 部 韓国語 2,000 部
レインボー ( (財) 福岡国際交流協会 )	英語版：平成 19 年 7 月号、 中国語・韓国語：平成 19 年 7・8 月号	英語 5,000 部 中国語 1,500 部 韓国語 1,500 部

**News from the Fukuoka Prefecture Airport Planning Division**

Recognizing the concerns posed by future congestion at Fukuoka Airport, the national government, in collaboration with Fukuoka City and Prefecture, has been combining forces as the Fukuoka Airport Research and Coordination Alliance since 2003 to carry out research regarding this issue. A comprehensive survey is currently being conducted in steps, starting with basic factors such as task regulation and demand, which considers the following questions:  
"To what extent can we continue to utilize the airport in its current state?"

Step 1 **Done!**  
Step 2 **Done!**  
Step 3 **The current PI is here!**  
Step 4

"Can we make use of neighboring airports to take some of the pressure off of Fukuoka Airport?"  
"Why not increase the number of runways at the current airport?"  
"Why not construct a new airport to cope with the congestion?"  
The series of steps that this examination has been divided into each involve actively implementing the techniques of Public Involvement (PI) in order to provide information to and collect feedback from the community.

PI (Step 1) "The Current Status of Fukuoka Airport and Issues That Must Be Addressed" and "Ascertaining the Abilities of the Airport".  
★The annual runway capacity at Fukuoka Airport for departures and arrivals is 145,000. In 2003, the actual number of departures and arrivals was 136,000. This very slight surplus resulted in the development of restrictions on passenger use and plane operation.

PI (Step 2) Completion of the implementation of the stage: "The Future of the Region and the Role of Fukuoka Airport" and "Predicting Future Aviation Demands" in 2006.  
★In the beginning of 2010, it is predicted that Fukuoka Airport will fill up all the space in its runway capacity, thereby increasing the state of confusion and being unable to adequately meet the demand.

PI (Step 3)  
★We will ask everyone for opinions and provide information regarding the examination of the correspondence measures for future demand ("Cooperation with neighboring airports", "runway expansion for the current airport" etc.), future correspondence measures from an evaluating viewpoint, and more.

For more details, please refer to news flyers distributed by places such as the Fukuoka Prefecture and City information departments, and the Fukuoka Airport Research and Coordination Alliance homepage: <http://www.fukuoka-cho.org/>

For Inquiries:  
Ministry of Land, Infrastructure and Transport Japan Kyushu Regional Development Bureau (PT Office) 092-752-8601  
Ministry of Land, Infrastructure and Transport Japan Chugai Regional Civil Aviation Bureau (Airport Planning and Regulation Department) 06-6949-6469  
Fukuoka Prefecture Airport Planning Bureau Airport Planning Division 092-643-3216  
Fukuoka City Airport Planning Section 092-711-4102

**福岡県空港対策課からのお知らせ**

为应付将来福岡机场拥挤不堪的局面，国家与福岡县及福岡市从2003年开始，在福岡机场调查联络调整会议上就《机场的发展前景》、《可否利用附近的机场》、《今后能否增建跑道》、《是否有必要新建机场应对未来》

等课题及需求等基础方面的问题分阶段进行《综合调查》。在此过程中，为研究立项，采取了积极提供信息，广泛征求公众意见的《市民参与》方式（PI）。

★PI(第一阶段)《福岡机场的现状与课题》、《如何评价机场潜力》等课题已于2005年结束。  
★福岡机场跑道的起降设计能力只有14.5万架次，但2004年实际已起降13.6万架次，所剩余地不大，已开始对旅客和飞机运行产生负面影响。

★PI(第二阶段)《本地发展蓝图与福岡机场作用》、《对将来航空需求展望》等项调查，也已在2006年结束。

★PI(第三阶段)《征求公众对讨论机场将来的应对能力》、《与附近机场的合作》、《在现有机场增设跑道》、《增建新机场》等》与点评，未来应对方案策略提供信息。

★PI(第四阶段)《征求公众对讨论机场将来的应对能力》、《与附近机场的合作》、《在现有机场增设跑道》、《增建新机场》等》与点评，未来应对方案策略提供信息。

★欲知详情，请参照福岡县、福岡市信息角发布的通知与传单，福岡机场调查联络会议的网站建设图》等项调查，也已在2006年结束。  
[HTTP://WWW.fukuoka-cho.org/](http://www.fukuoka-cho.org/)

第一階段 **Done!**  
第二階段 **Done!**  
第三階段 **The current PI is here!**  
第四階段

咨询处  
国土交通省九州地方整備局(PT室) 092-752-8601  
国土交通省大阪航空局 06-6949-6469  
福岡県空港対策課空港計画課 092-643-3216  
福岡市总务企画局空港推進担当 092-711-4102

**후쿠오카현 공항대책과**

후쿠오카 공항의 장래의 혼잡 문제 등을 대응하기 위해서 2003년 도부터 정부의 후쿠오카현, 후쿠오카시가 연계 협력하는 후쿠오카 공항 조사 연차 조정회의에서는 「지금의 공항을 어디까지 활용 할 수 있는가?」 「근린 공항을 활용 할 수 있는가?」 「지금의 공항에 활주로를 늘릴 수 있는가?」 「새로운 공항을 만들어서 대응하는

가, 장에 대한 과제 정의와 수요를 기본적인 것부터 단계를 밟아서 조사하는 「총합적인 조사」를 실시하고 있습니다 이 조사에서는 검토 단계에 대응하고 적극적으로 정보제공, 의견수렴을 하는 Public Involvement (시민 참여 제도)를 도입하고 있습니다.

★ 후쿠오카 공항의 연간 활주로 처리 용량이 14.5만회라는 관제하에서 2003년의 실적 13.6만회에 대해서 약간의 여유는 있지만, 여객기 이용과 항공기 운항에 제약이 발생하고 있습니다.

2006년 실시완료.  
★ 후쿠오카 공항에서는 2010년대 초반에는 활주로처리 용량에 여유가 없어져 혼잡상황이 확대되고, 수요에 충분히 대응할 수 있을 것이라고 예상되었다.

★PI(第一阶段) 《福岡机场的现状与课题》、《如何评价机场潜力》等课题已于2005年结束。  
★福岡机场跑道的起降设计能力只有14.5万架次，但2004年实际已起降13.6万架次，所剩余地不大，已开始对旅客和飞机运行产生负面影响。

★PI(第二阶段) 《本地发展蓝图与福岡机场作用》、《对将来航空需求展望》等项调查，也已在2006年结束。

★PI(第三阶段) 《征求公众对讨论机场将来的应对能力》、《与附近机场的合作》、《在现有机场增设跑道》、《增建新机场》等》与点评，未来应对方案策略提供信息。

★PI(第四阶段) 《征求公众对讨论机场将来的应对能力》、《与附近机场的合作》、《在现有机场增设跑道》、《增建新机场》等》与点评，未来应对方案策略提供信息。

★欲知详情，请参照福岡县、福岡市信息角发布的通知与传单，福岡机场调查联络会议的网站建设图》等项调查，也已在2006年结束。  
[HTTP://WWW.fukuoka-cho.org/](http://www.fukuoka-cho.org/)

문의처  
국토교통성 류슈지방 정비국 (PT실) 092-752-8601  
국토교통성 오사카 항공국 (공항 기획조정과) 06-6949-6469  
후쿠오카현 항공대책과 항공계획과 092-643-3216  
후쿠오카시 총무기획과 공항추진담당 092-711-4102

Step 1 **Done!**  
Step 2 **Done!**  
Step 3 **The current PI is here!**  
Step 4

图 10 こくさいひろば (左上：英語、右上：中国語、下：韓国語)

Recognizing the concerns posed by future congestion at Fukuoka Airport, the national government, in collaboration with Fukuoka City and Prefecture, have been combining forces as the Fukuoka Airport Research and Coordination Alliance since 2003 to carry out research regarding this issue. A comprehensive survey is currently being conducted step-by-step, starting with basic factors such as task regulation and determining demand, covering the following issues:

"To what extent can we continue to utilize the airport in its current state?"  
 "Can we make use of neighboring airports to take some of the pressure off of Fukuoka Airport?"  
 "Can we increase the number of runways at the current airport?"  
 "Can we construct a new airport to cope with congestion?"

The series of steps that this examination has been divided into, can involve actively implementing techniques of Public Involvement (PI) in order to provide information to and collect feedback from the community.

**PI Stage (Step 1) Completed in 2005**  
 "The Current State of Fukuoka Airport and Issues That Must Be Addressed" and "Ascertaining the Abilities of the Airport"  
 ● The annual runway capacity at Fukuoka Airport for both departures and arrivals is

**Fukuoka Airport**  
 145,000 flights. In 2003, the actual number of departures and arrivals was 136,000. This difference resulted in the development of further restrictions on passenger use and plane operation.

**PI Stage (Step 2) Completed in 2006**  
 ● To provide information regarding "The Future of the Region and the Role of Fukuoka Airport" and "Predicting Future Aviation Demands"  
 ● It is estimated that Fukuoka Airport's runway capacity will not be able to meet the demand associated with the anticipated increase in air congestion by 2010.

**Plans for the Implementation of the Current Stage of PI (Step 3)**  
 To provide information on possible solution schemes ("Strategies on Utilizing Existing Stocks Effectively", "Strategies on Cooperation with Neighboring Airports", "Radical Strategies on Enhancing the Ability of the Airport from Both Medium and Long Term Perspectives, Includes Construction of a New Airport, and Increasing the Number of Runways") and perspectives on the corresponding scheme evaluations.

We now plan on implementing Step 3. Further details on these developments will be provided through information support centers,

as well as flyers and websites maintained by Fukuoka City and Prefecture.  
 ● Fukuoka Airport Research and Coordination Alliance Homepage: <http://www.fukuokakuko-chosa.org/>  
 ● For Inquiries:  
 ○ Kyushu Regional Development Bureau (PT Office) of the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport 092-752-8601  
 ○ Osaka Regional Civil Aviation Bureau (Airport Planning and Coordination Division) of the Ministry of Land, Infrastructure, and Transport 06-6949-6469  
 ○ Fukuoka Airport Planning Bureau, Airport Planning Division 092-643-3216  
 ○ Fukuoka City General Affairs and Planning Bureau, Management for Airport Promotion 092-711-4102



**福岡机场调查**

自2003年国家、福冈县、福冈市为解决将来福岡机场拥挤状况，成立了福岡机场调查联络会议，就《机场今后的发展前景》、《能否利用就近机场》、《今后能否增加跑道》、《是否建新机场解决当前矛盾》等问题，从整理课题和需求方面有步骤地进行了综合调查。此调查，为应对各讨论阶段，采用积极提供情报，收集意见的居民参与(PI)方式。

■“去年实施的PI(第一阶段)”《福岡空港的现状与课题》、《评估空港能力》等。  
 - 福岡机场跑道的最大负荷是14.5万次/年，而2002年福岡机场实际起降13.6万架次，虽有一点余地，但已开始对飞机运行采取一定的限制措施。  
 ■“这次准备实施的PI(第二阶段)”  
 - 提供《本地将来发展蓝图和福岡机场的作用》，2006年完成了《对将来航空需求的预测》方面的调查。  
 福岡机场预测，到2010年初，跑道容量将到极限，拥挤不堪，机场管理将陷入混乱状态，不能满足航空事业的发展与需求。  
 ■PI(第三阶段)”  
 - 提供对应应该研究的「(更加充分利用现有跑道)」，「(与附近机场的协作)」，(从中长期战略眼光着手，探讨建设新机场，新跑道在内的从根本上解决提高机场能力的方法等)措施的对准实施PI(第三阶段)调查。实施时期一旦决定，将通过县及福岡市的有关窗口用广告和网站等发布通知。  
 ■福岡空港调查联络会议网站  
[HTTP://WWW.FUKUOKAKUKO-CHOSA.ORG/](http://www.fukuokakuko-chosa.org/)  
 ■咨询电话:  
 - 国土交通省九州地方整備局 (PT室) 092-752-8601  
 - 国土交通省大阪航空局 06-6949-6469  
 - 福岡县空港对策局空港计划课 092-643-3216  
 - 福岡市总务企画局空港推进担当 092-711-4102



**후쿠오카 공항 조사**

후쿠오카 공항에 대해서 장래의 혼잡 문제를 대응하기 위해서 2003년부터 정부와 후쿠오카현 후쿠오카시가 연대, 협력해서 후쿠오카 공항 조사 연락조정 회의로서 「지금의 공항을 어디까지 활용할 수 있는가」 「관련 공항을 활용할 수 있는가」 「지금의 공항에 활주로를 더 늘릴 수 있는가」 「새로운 공항을 만들어서 대응하는가」 등에 대해서 과제 정리와 수요 등 기본적인 것부터 단계를 밟아서 조사하는 「종합적인 조사」를 실시하고 있습니다. 이 조사에서는 검토 단계에 대응하고 적극적으로 정보제공, 의견수렴을 하는 Public Involvement (시민 참여 제도) 를 도입하고 있습니다.

**<PI (스텝 1)>**  
 「후쿠오카 공항의 현상과 과제」, 「공항 능력의 확인」 등... 2005년도 실시  
 후쿠오카 공항의 연간 활주로 처리 용량은 14.5만회라는 전체 이래 2002년도 실적은 13.6만회에 반해서 각국의 여유가 있지만, 여

령적 이용과 항공기 운항에 제약이 발생하기 시작했습니다.

**<PI (스텝 2)>**  
 「지역의 미래상과 후쿠오카 공항의 역할」, 「항공 수요의 장래 예측」 등...2006년도 실시  
 후쿠오카 공항에서는 2010년이 되면 활주로의 용량에 여유가 없어서 혼잡상황이 확대되고, 수요에 못 미칠 것이라고 예상됩니다.

**<PI (스텝 3)>**  
 검토해야만 하는 대응안(기존 스톡의 유효 활용 방안, 근린 공항과의 연계방식, 공항가격 인 관점에서의 신공항, 활주로 증설 등을 포함한 기본적인 공항 능력향상 방책 등) 과 대응안을 평가하는 관점 등에 대해서 정보제공을 합니다.  
 이번에는 PI(스텝 3)을 예정하고 있지만, 실시 시간에 대한 자세한 것이 정해지면 후쿠오카현, 후쿠오카시의 정보제공 창구의 홍보 전단지, 홈페이지 등에서 홍보하게 됩니다.

후쿠오카공항 조사 연락조정회의 홈페이지  
<http://www.fukuokakuko-chosa.org>  
 문의처  
 국토교통성 규슈지방 정비국 (PT실)  
 ☎ 092-752-8601  
 국토교통성 오사카 항공국 (공항 기획조정과)  
 ☎ 06-6949-6469  
 후쿠오카현 항공대책국 항공계획과  
 ☎ 092-643-3216  
 후쿠오카시 총무기획국 공항추진담당  
 ☎ 092-711-4102



图 11 레인보어 (左上: 英語版、左下: 韓國版、右: 中國版)

## ホームページ

福岡空港調査連絡調整会議のホームページを開設し（平成 17 年 6 月 24 日～）これまでの福岡空港の総合的な調査に係る関連資料等を集約・掲載すると共に、P I（ステップ 3）の活動等に関する開催日や開催場所等の周知を行いました。

なお、平成 19 年 9 月 10 日より、P I（ステップ 3）の周知広報をホームページにて開始しました。

福岡空港調査連絡調整会議  
Fukuoka Airport Study Commission  
～ 福岡空港の総合的な調査～  
Comprehensive Study of Fukuoka Airport

トップページ since 2005.6.24 0061615

福岡空港のP Iって何？  
P Iレポート(ステップ3)は、こちら！  
P Iレポート(ステップ3)への  
ご意見はこちら

～ サイトマップ～

<基礎情報>  
■ 福岡空港の総合的な調査に係る P I活動(公表資料一覧)  
■ P I手法の紹介

<P I(ステップ3)>  
■ P I(ステップ3)実施計画(PDF:971KB)  
■ P Iレポート(ステップ3)  
■ P I活動の実施

<P I(ステップ2)>  
■ P I(ステップ2)実施計画(PDF:364KB)  
■ P Iレポート(ステップ2)  
■ P I活動の実施  
■ P I(ステップ2)のQ&A  
■ P I(ステップ2)の終了

<P I(ステップ1)>  
■ P I(ステップ1)実施計画(PDF:253KB)  
■ P Iレポート(ステップ1)  
■ P I活動の実施  
■ P I(ステップ1)のQ&A  
■ P I(ステップ1)の終了

<福岡空港調査連絡調整会議>  
■ 開催要領  
■ 福岡空港調査連絡調整会議  
■ これまでの記録・資料  
■ いただいたご意見への回答など

<その他>  
■ よくあるQ&A  
■ 広報資料ライブラリー  
■ 関連組織リンク集

ニュース&トピック  
● 新着情報  
→ 福岡空港見学会の開催概要を掲載しました。(H19.10.29) NEW  
→ オープンハウスの開催概要を掲載しました。(H19.10.29) NEW  
→ 公開懇話会の傍聴者の募集を締め切りました。(H19.10.18) NEW  
→ オープンハウスの開催概要を掲載しました。(H19.10.16)  
→ 福岡空港P Iどんたんの意見発表者が決定しました。(H19.10.11)  
→ 履歴はこちら

福岡空港の総合的な調査に関する基礎情報  
■ 福岡空港の総合的な調査に係るP I活動(公表資料一覧)  
■ P I手法(情報提供およびご意見収集の方法)の紹介

みなさんへの情報提供、みなさんからのご意見募集  
● P I(ステップ3)  
■ P I(ステップ3)実施計画(PDF:971KB)  
■ P Iレポート(ステップ3) → P Iレポート入手  
◆ 参加募集等のお知らせ 募集中  
◆ 開催スケジュールのお知らせ → 案内チラシ(PDF:522KB) / 案内ポスター(PDF:780KB)  
■ P I活動の実施  
・ P I(ステップ3)活動の実施結果

● P I(ステップ2)  
■ P I(ステップ2)実施計画(PDF:364KB)  
■ P Iレポート(ステップ2)  
■ P I活動の実施  
・ P I(ステップ2)活動の実施結果  
・ 福岡空港調査P I有識者委員会による実施状況  
・ P I活動について  
・ 福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ2)実施報告書  
■ パブリック・インボルブメント(ステップ2)に係るQ&A  
■ P I(ステップ2)の終了について

● P I(ステップ1)  
■ P I(ステップ1)実施計画(PDF:253KB)  
■ P Iレポート(ステップ1)  
■ P I活動の実施  
・ P I(ステップ1)活動の実施結果  
・ 福岡空港調査P I有識者委員会による実施状況  
・ 福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)実施報告書  
■ パブリック・インボルブメント(ステップ1)に係るQ&A  
■ P I(ステップ1)の終了について

福岡空港調査連絡調整会議

図 12 ホームページのトップページ

また、福岡空港調査連絡調整会議ホームページへのアクセスがより容易になるよう、検索サイト Yahoo と Google において、検索キーワード連動型広告へ登録を行いました。

対象サイト	登録期間	キーワード	表示回数	内クリック数
Yahoo	平成 19 年 9 月 10 日 ～12 月 10 日	福岡空港	264, 599	506
Overture		福岡空港調査	1, 956	297
Google		福岡空港	10, 857	33
Adwords		福岡空港調査	638	146

The screenshot shows the Yahoo! Japan search results for the keyword '福岡空港'. The search bar at the top contains '福岡空港'. Below the search bar, there are several sponsored links. One link is highlighted with a red dashed box and a red arrow pointing to it from the search bar area. This link is for '福岡空港調査連絡調整会議' (Fukuoka Airport Investigation and Coordination Meeting) with the URL 'www.fukuokakuko-chosa.org'. Other search results include '福岡空港のグルメ情報' (Fukuoka Airport Gourmet Information) and '福岡空港ビル前の駐車場はこちら' (Fukuoka Airport Building Front Parking Here).

図 13 検索キーワード連動型広告表示例（キーワード：福岡空港、Yahoo の場合）

The image shows two screenshots of the Google search interface. The top screenshot shows the search input field with the keyword '福岡空港' (Fukuoka Airport) and the search button. A red box highlights the search input field, and a red arrow points from it to a red box in the bottom screenshot. The bottom screenshot shows the search results page for '福岡空港'. The search results include several organic links and a sponsored link. The sponsored link is titled 'スポンサーリンク' (Sponsored Link) and is for '福岡空港調査連絡調整会議' (Fukuoka Airport Investigation and Coordination Meeting). The sponsored link text reads: '福岡空港の総合的な調査では、皆様のご意見を募集しています。 www.fukuokakuko-chosa.org'. A red box highlights the sponsored link area.

Google 日本

ウェブ 画像 ニュース 地図 グループ more »

福岡空港

Google 検索 I'm Feeling Lucky

検索オプション  
表示設定  
言語ツール

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

New! Google Apps - 企業や学校に最適な Google サービス

広告掲載 - ビジネスソリューション - Google について - 人材募集 - Google.com in English

©2007 Google

Google

ウェブ 画像 ニュース 地図 グループ more »

福岡空港

検索 検索オプション  
表示設定

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

ウェブ 福岡空港 の検索結果 約 1,000,000 件中 1 - 10 件目 (0.38 秒)

関連検索: 福岡空港 駐車場, 福岡空港 バス, 福岡空港 時刻表, 福岡空港 国際線

**福岡空港ビルディング**  
FUK。フライト時刻表、施設・ターミナル案内、アクセス情報、会社概要。  
www.fuk-ab.co.jp/- 2k - キャッシュ - 関連ページ  
福岡空港 フライト情報 - www.fuk-ab.co.jp/.../japanese/flightinfo\_index.asp  
福岡空港時刻表 - www.fuk-ab.co.jp/timetable/fukoku-f.html  
Access - www.fuk-ab.co.jp/access/access.html  
接続手順 - www.fuk-ab.co.jp/service/lan/howto.htm  
www.fuk-ab.co.jp との他の一致 >

**福岡空港 フライト情報**  
福岡空港 本日のフライト情報。このフライトインフォメーションページに掲載されるフライト情報は、各航空会社から提供されております。... 本日の福岡空港発着便のフライト状況を検索できます。国内線出発・国内線到着・国際線出発・国際線到着 ...  
www.fuk-ab.co.jp/flightinfo/japanese/flightinfo\_index.asp - 5k - キャッシュ - 関連ページ

**福岡空港 - Wikipedia**  
福岡空港(ふくおかこう Fukuoka Airport)は、福岡県福岡市博多区大字下白井(しもうすい)にある、国土交通大臣が設置・管理する第二種空港である。板付空港ともよばれる。敷地の一角に航空自衛隊春日基地板付地区(かすがきちい)たづけ ...  
ja.wikipedia.org/wiki/福岡空港 - 71k - キャッシュ - 関連ページ  
福岡空港

スポンサーリンク  
福岡空港調査連絡調整会議  
福岡空港の総合的な調査では、皆様のご意見を募集しています。  
www.fukuokakuko-chosa.org

図 14 検索キーワード連動型広告表示例 (キーワード: 福岡空港、Google の場合)

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

P I レポート配布 実施結果

## 2. 資料配布

PIレポート(ステップ3)及び参考資料(PIレポート(ステップ3)詳細版)を、福岡空港や福岡県内及び県外(佐賀県)の主要駅等(25ヶ所)、市町村、学校、見学会・説明会・オープンハウス等のPI催し会場などで配布し、情報提供を実施しました。

詳細版は希望者のみ

表 18 資料街頭配布箇所

配布箇所		配布日	配布物
福岡市内	福岡空港 第1ビル	平成19年9月18日、9月22日、10月22日	PIレポート(ステップ3)、チラシ、意見記入はがき
	福岡空港 第2ビル、第3ビル	平成19年9月18日、9月22日、10月22日	
	福岡空港 国際線	平成19年9月18日、9月22日	
	JR博多駅	平成19年9月18日、9月22日	
	地下鉄天神駅	平成19年9月18日、9月22日、9月26日	
	西鉄福岡駅	平成19年9月18日、9月26日	
	JR香椎駅	平成19年9月21日	
福岡地区	JR筑前前原駅	平成19年9月21日、10月2日	
	西鉄二日市駅	平成19年9月20日、10月2日	
	西鉄春日原	平成19年9月25日	
北九州地区	JR小倉駅	平成19年9月21日、9月22日	
	JR行橋駅	平成19年9月21日、10月2日	
	JR宇島駅	平成19年9月21日、10月2日	
筑豊地区	JR新飯塚駅	平成19年9月19日、9月26日	
	西鉄飯塚バスセンター	平成19年9月19日、9月26日	
	JR直方駅	平成19年9月19日	
	JR田川後藤寺駅	平成19年9月19日	
筑後地区	西鉄久留米駅	平成19年9月20日、9月25日	
	西鉄柳川駅	平成19年9月20日	
	JR大牟田駅・西鉄大牟田駅	平成19年9月20日	
その他の地区	JR鳥栖駅	平成19年9月20日	
	JR唐津駅	平成19年9月21日	
大学	北九州市立大学	平成19年10月2日	
	福岡大学	平成19年9月25日	
	九州産業大学	平成19年9月25日	

表 19 主な資料配布箇所

配布箇所	
市町村	福岡県内の全市町村
中学校	福岡県内の全中学校
高等学校	福岡県内の全高校
大学	福岡市内の全大学(短大を除く)及び福岡県内の国公立大学

福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ3）  
インフォメーションコーナー 実施結果

### 3. インフォメーションコーナー実施結果

福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局において、P Iレポートの内容を空港利用者等に自由に見てもらえるよう、レポートの内容をパネルにしたものを展示したり、レポートや関係資料等を自由に持ち帰ることが出来るよう配置したインフォメーションコーナーを開設しました。特に、福岡空港においては、説明員を配置し、必要に応じて個別に説明を行ないました。

また、パネル等をご覧になった方々が、後日郵送やF A Xで意見を提出できるよう、意見記入はがきを設置するとともに、その場で意見を提出できるよう、意見記入場所、意見記入済みはがき回収ボックスを設置しました。

開設後、ホームページに実施結果を掲載しました。

表 20 インフォメーションコーナー実施結果

開催場所	開催日	参加者数
福岡空港 第2ターミナル2階	平成19年9月18日(月)～平成20年1月10日	3,253人 (福岡空港 H19/9/18 ～ H20/1/10)
福岡県庁 1階ロビー	平成19年9月18日(月)～平成20年1月10日	
福岡市役所 1階ロビー	平成19年9月18日(月)～平成20年1月10日	
九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所 1階ロビー	平成19年9月18日(月)～平成20年1月10日	

#### ■インフォメーションコーナー

・会場の状況



図 15 福岡空港



図 16 福岡県

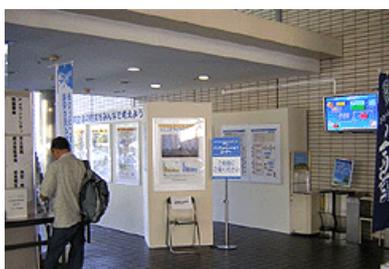


図 17 福岡市



図 18 九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所

福岡空港、福岡県庁、福岡市役所、九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所の4ヶ所にインフォメーションコーナーを開設し、P Iレポートに関する情報を提供しました。福岡空港のコーナーには、平成20年1月10日までに3,253の方が来訪されました。

各インフォメーションコーナーでは、P Iレポートの内容を紹介した展示パネルをご覧いただいたり、P Iレポートをお読みいただいたりするとともに、説明員による説明を受けていただきました。

ホームページに図 19 のとおり実施状況を掲載しました。

福岡空港調査連絡調整会議～福岡空港の総合的な調査～

PI活動の実施結果

## Step-3 インフォメーションコーナー

■ インフォメーションコーナー

- 開催場所・開催日時

開催場所	開催日時
福岡空港 第2ターミナル2階	平成19年9月18日(月) ～平成20年1月10日(木)
福岡県庁 1階ロビー	平成19年9月18日(月) ～平成20年1月10日(木)
福岡市役所 1階ロビー	平成19年9月18日(月) ～平成20年1月10日(木)
九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所 1階ロビー	平成19年9月18日(月) ～平成20年1月10日(木)

- 来場者数 3,253人(福岡空港)

会場の状況(福岡空港)

会場の状況(福岡県)

会場の状況(福岡市)

会場の状況(九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所)

福岡空港、福岡県庁、福岡市役所および九州地方整備局 博多港湾・空港整備事務所の4力所にインフォメーションコーナーを設置し、PIレポート(ステップ3)に関する情報を提供しました。福岡空

図 19 インフォメーションコーナーの実施状況

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 説明会 実施結果

#### 4 . 説明会実施結果

福岡県内の主要な公共施設等において、P Iレポートの内容の説明会を実施しました。当日の質疑応答や、意見記入はがきによって、参加者から意見をいただきました。また、開催後、ホームページに実施状況を掲載しました。

表 21 説明会実施結果

開催場所	開催日	参加人数
【福岡市内】 あいでふ 10階講堂	平成19年9月20日(木) 18:00～19:30(20:00まで延長)	54人
【福岡地区】 まどかぴあ 大会議室	平成19年10月8日(月) 14:30～16:00(16:15まで延長)	47人
【北九州地区】 KMMビル 4階会議室	平成19年10月3日(水) 18:00～19:30(20:00まで延長)	37人
【筑豊地区】 飯塚市市民交流プラザ	平成19年9月25日(火) 18:00～19:30	10人
直方市中央公民館	平成19年11月12日(月) 13:30～15:00(15:30まで延長)	16人
【筑後地区】 六ツ門ビル2階 六ツ門大学	平成19年10月5日(金) 15:30～17:00	28人

福岡市内

- ・開催場所 あいでふ 10階講堂
- ・開催日時 平成19年9月20日(木) 18:00～19:30(20:00まで延長)
- ・参加人数 54人



図 20 連絡調整会議による説明の状況

当日、54人の方にご参加いただきました。説明会では、P Iレポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答では、ご参加のみなさまから約70分にわたり、P Iレポートに関するご質問やご意見をいただきました。

#### 福岡地区

- ・開催場所 まどかぴあ 大会議室
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 8 日(月) 14:30～16:00 (16:15 まで延長)
- ・参加人数 47 人



図 21 連絡調整会議による説明の状況

当日、47 人の方にご参加いただきました。説明会では、P I レポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答では、ご参加のみなさまから約 60 分にわたり、P I レポートに関するご質問やご意見をいただきました。

#### 北九州地区

- ・開催場所 KMM ビル 4 階会議室
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 3 日(水) 18:00～19:30 (20:00 まで延長)
- ・参加人数 37 人



図 22 連絡調整会議による説明の状況

当日、37 人の方にご参加いただきました。説明会では、P I レポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答では、ご参加のみなさまから約 70 分にわたり、P I レポートに関するご質問やご意見をいただきました。

筑豊地区

- ・開催場所 飯塚市市民交流プラザ
- ・開催日時 平成 19 年 9 月 25 日(火) 18 : 00 ~ 19:30
- ・参加人数 10 人



図 23 連絡調整会議による説明の状況

当日、10 人の方にご参加いただきました。説明会では、P I レポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答では、ご参加のみなさまから約 40 分にわたり、P I レポートに関するご質問やご意見をいただきました。

- ・開催場所 直方市中央公民館
- ・開催日時 平成 19 年 11 月 12 日(月) 13 : 30 ~ 15:00 ( 15:30 まで延長 )
- ・参加人数 16 人



図 24 連絡調整会議による説明の状況

当日、16 人の方にご参加いただきました。説明会では、P I レポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答では、ご参加のみなさまから約 70 分にわたり、P I レポートに関するご質問やご意見をいただきました。

筑後地区

- ・開催場所 六ツ門ビル2階 六ツ門大学
- ・開催日時 平成19年10月5日(水) 15:30～17:00
- ・参加人数 28人



図 25 連絡調整会議による説明の状況

当日、28人の方にご参加いただきました。説明会では、P Iレポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答では、ご参加のみなさまから約40分にわたり、P Iレポートに関するご質問やご意見をいただきました。

ホームページに図 26 のとおり実施状況を掲載しました。

The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of the Fukuoka Airport Study Commission. The page features a header with the organization's name in Japanese and English, and a sub-header for the 'Comprehensive Study of Fukuoka Airport'. A navigation menu includes links for 'PI Activity Implementation Results (Step 3)', 'Public Hearing', 'Open House', and 'Information Corner'. The main content area is titled 'Step-3 説明会' (Step-3 Explanation Meeting) and lists details for the 'Fukuoka City' event, including the venue (Ainohi 10th Lecture Hall), date (September 20, 2019), and attendance (54 people). Two photographs show the meeting in progress. A text box summarizes the meeting's success, noting that 54 people attended and that the PI report's content was explained, with a Q&A session following. It lists several main concerns from attendees, such as safety, environmental impact, and cost. A sidebar on the left provides a site map and links to various reports and documents. The footer includes a page count and an internet icon.

図 26 説明会の実施状況

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 出前説明会 実施結果

## 5 . 出前説明会実施結果

各地域の市民講座など各種の集まりにおいて、要望に応じてP Iレポートの内容を説明し、ご意見をいただきました。

参加者の方々には、当日の説明に用いた資料と共に、他のP I活動を紹介したチラシなどP I活動に関する関係資料等を配布しました。

表 22 出前説明会実績

開催対象	回数	参加人数
学校等	7回	654人
一般市民・自治体等	10回	341人
企業・経済団体等	8回	183人

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 懇談会 実施結果

## 6. 懇談会実施結果

福岡市内の公共施設、福岡空港ターミナルビル等において、福岡空港と関わりのある事業者や関心を有する市民団体等を対象にPIレポートの内容の説明や意見交換を実施しました。

当日の質疑応答や、意見交換、意見記入はがきによって、参加者からご意見をいただきました。

表 23 懇談会実施結果

	対象者	開催場所	開催日	参加人数
空港 関連 事業者	第1回	福岡市役所 1505 会議室	平成 19 年 9 月 26 日(水) 10:00 ~ 12:00	5 団体、5 人
	第2回	福岡市役所 1505 会議室	平成 19 年 9 月 27 日(木) 10:00 ~ 12:00	10 団体、11 人
	第3回	福岡空港ビル待合室 D, E	平成 19 年 10 月 1 日(月) 10:00 ~ 12:00	10 団体、16 人
	第4回	福岡空港ビル待合室 D, E	平成 19 年 10 月 1 日(月) 14:00 ~ 16:00	9 団体、13 人
	第5回	福岡市役所 1505 会議室	平成 19 年 10 月 9 日(火) 10:00 ~ 12:00	9 団体、10 人
	第6回	福岡市役所 1504 会議室	平成 19 年 10 月 10 日(水) 10:00 ~ 12:00	11 団体、15 人
空港 周辺 住民 等	第1回	福岡空港事務所 A 会議室	平成 19 年 9 月 28 日(金) 14:00 ~ 16:00	19 人
	第2回	地元集会所	平成 19 年 10 月 2 日(火) 13:30 ~ 16:00	21 人
	第3回	地元集会所	平成 19 年 10 月 10 日(水) 19:00 ~ 20:00	27 人
	第4回	地元集会所	平成 19 年 10 月 15 日(月) 15:00 ~ 17:00	16 人
周辺自治体	福岡市役所 1505 会議室	平成 19 年 10 月 9 日(火) 14:00 ~ 16:00	12 自治体、1 団 体、14 人	
市民団体	福岡市役所 1503 会議室	平成 19 年 10 月 16 日(火) 10:00 ~ 12:00	9 団体、11 人	
合計				178 人

## 空港関連事業者

表 24 懇談会開催日時、開催場所及び参加人数（空港関連事業者）

開催日時	場所	参加人数
平成 19 年 9 月 26 日（水） 10:00～12:00	福岡市役所 1505 会議室	5 団体、5 人
平成 19 年 9 月 27 日（木） 10:00～12:00	福岡市役所 1505 会議室	10 団体、11 人
平成 19 年 10 月 1 日（月） 10:00～12:00	福岡空港ビル待合室 D，E	10 団体、16 人
平成 19 年 10 月 1 日（月） 14:00～16:00	福岡空港ビル待合室 D，E	9 団体、13 人
平成 19 年 10 月 9 日（火） 10:00～12:00	福岡市役所 1505 会議室	9 団体、10 人
平成 19 年 10 月 10 日（水） 10:00～12:00	福岡市役所 1504 会議室	11 団体、15 人



図 27 会場の状況

空港利用企業の方との懇談会は 6 回開催され、合計で 54 団体、70 人の空港利用企業の方にご参加いただきました。懇談会では、P I レポートの内容について連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答の際には、ご参加のみなさまから、P I レポートに関する様々なご意見をいただきました。

## 空港周辺住民等

表 25 懇談会開催日時、開催場所及び参加人数（空港周辺住民等）

開催日時	場所	参加人数
平成 19 年 9 月 28 日（金） 14:00～16:00	福岡空港事務所 A 会議室	19 人
平成 19 年 10 月 2 日（火） 13:30～16:00	地元集会所	21 人
平成 19 年 10 月 10 日（水） 19:00～20:00	地元集会所	27 人
平成 19 年 10 月 15 日（月） 15:00～17:00	地元集会所	16 人

周辺住民の方との懇談会は 4 回開催され、合計で、83 人の周辺住民の方にご参加いただきました。懇談会では、P I レポートの内容について連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答の際には、ご参加のみなさまから、P I レポートに関する様々なご意見をいただきました。

#### 周辺自治体

- ・開催場所 福岡市役所 1505 会議室
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 9 日（火） 14:00～16:00
- ・参加人数 12 自治体、1 団体、14 人



図 28 会場の状況

当日、12 自治体、1 団体、14 人の方にご参加いただきました。懇談会では、P I レポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答の際には、ご参加のみなさまから、P I レポートに関する様々なご意見をいただきました。

#### 市民団体

- ・開催場所 福岡市役所 1503 会議室
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 16 日（火） 10:00～12:00
- ・参加人数 9 団体、11 人



図 29 会場の状況

当日、9 団体、11 人の方にご参加いただきました。懇談会では、P I レポートの内容について、スクリーンに写した映像を用いて連絡調整会議から説明を行った後に、質疑応答が行われました。質疑応答の際には、ご参加のみなさまから、P I レポートに関する様々なご意見をいただきました。

ホームページに図 30 のとおり実施状況を掲載しました。

The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of the Fukuoka Airport Study Commission. The main header features the organization's name in Japanese and English, along with the tagline 'Comprehensive Study of Fukuoka Airport'. Below the header, there are navigation links and a main content area titled 'Step-3 懇談会' (Step-3 Consultation Meeting). A table lists the dates and locations of the meetings, and a photo shows the meeting in progress. A text box provides details about the consultation meetings and lists main opinions from participants.

**福岡空港調査連絡調整会議**  
Fukuoka Airport Study Commission  
～ 福岡空港の総合的な調査 ～  
Comprehensive Study of Fukuoka Airport

トップページ > [PI活動の実施] PI活動の実施結果(ステップ3) → トップページ  
| 意見発表会 | 見学会 | 説明会 | オープンハウス | 懇談会 | インフォメーションコーナー |

**福岡空港のPIって何?**

**PIレポート(ステップ3)は、こちら!**

**PIレポート(ステップ3)への  
ご意見はこちら**

～ サイトマップ ～

<基礎情報>

- 福岡空港の総合的な調査に係るPI活動(公表資料一覧)
- PI手法の紹介

<PI(ステップ3)>

- PI(ステップ3)実施計画(PDF:971KB)
- PIレポート(ステップ3)
- PI活動の実施

<PI(ステップ2)>

- PI(ステップ2)実施計画(PDF:364KB)
- PIレポート(ステップ2)
- PI活動の実施
- PI(ステップ2)のQ&A
- PI(ステップ2)の終了

<PI(ステップ1)>

- PI(ステップ1)実施計画(PDF:253KB)
- PIレポート(ステップ1)
- PI活動の実施
- PI(ステップ1)のQ&A
- PI(ステップ1)の終了

<福岡空港調査連絡調整会議>

- 開催要領
- 福岡空港調査連絡調整会議
- これまでの記録・資料
- いただいたご意見への回答など

<その他>

- よくあるQ&A
- 広報資料ライブラリー
- 関連組織リンク集

**PI活動の実施結果**

## Step-3 懇談会

■ 空港関連事業者

開催日時	開催場所	参加人数
平成19年9月26日(水)	福岡市役所1505会議室	5団体、5名
平成19年9月27日(木)	福岡市役所1505会議室	10団体、11名
平成19年10月1日(月)	福岡空港ビル待合室D、E	10団体、16名
平成19年10月1日(月)	福岡空港ビル待合室D、E	9団体、13名
平成19年10月9日(火)	福岡市役所1505会議室	9団体、10名
平成19年10月10日(水)	福岡市役所1504会議室	11団体、15名

会場の様子

空港関係事業者の方との懇談会は6回開催され、合計で54団体、70名の方にご参加いただきました。懇談会では、PIレポートの内容について連絡調整会議から説明を行った後、質疑応答が行われました。質疑応答の際には、ご参加のみなさまから、PIレポートに関する以下のようなご意見をいただきました。

(主なご意見)

- 環境アセスメントや用地買収の時間も考慮した場合、着工に時間がない状態である。工期をいかに短くする方法を練っておく必要がある。
- 東京のように国際空港と国内空港という分け方ではなく、人と物流で分ける。市内に貨物専用の空港を作る等といった考えもあっていいのではないか。
- 福岡を中心に、九州では1カ月約7,000トンの貨物が発生しているが、九州の空港は貨物便の取り扱いが少なく、全体の3分の2、2,500トン以上は開空や成田から出さざるを得ない。
- 新空港建設費が1兆～1兆1,000億円という大きな事業であり、税金から支払われる部分もある。子どもたちに借金を残さない方策を考えてほしい。
- 今回の需要予測は、現在の福岡空港のロケーションの良さを前提としたものであることに留意が必要。
- 新空港を作った場合、現空港は廃止ということだが、緑地帯にするとか、売却するとか、跡地利用の案も必要である。
- 旅行業界の立場からすると、遠方に空港をつくるよりも、アクセスの良い現状の空港をうまく活用してもらえればと思う。

ページが表示されました

インターネット

図 30 懇談会の実施状況

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 公開懇話会 実施結果

## 7. 公開懇話会実施結果

公開懇話会では、様々な分野の懇談会参加者の方々にお集まりいただき、P Iレポート（ステップ3）の内容について、相互に意見交換を行い、広い視点からのご意見をいただきました。

第1回は、「対応方策の検討」について、第2回は、「評価の視点」についてご議論いただきました。そして、第3回の公開懇話会において、第1回、第2回の議論の内容をとりまとめた「公開懇話会でのご意見（案）」について議論いただきました。

表 26 公開懇話会開催日時等

日時	場所	人数	議論のテーマと概要
第1回 10月24日(水) 14:00～16:00	福岡県 吉塚合同 庁舎	17名	対応方策の検討について 「近隣空港との連携方策」「現空港の滑走路増設」「新空港」の方策ごとに、ご議論いただきました。
第2回 10月31日(水) 14:00～16:00			評価の視点について P Iレポート（ステップ3）に挙げられた5つの視点ごとに、ご議論いただきました。
第3回 11月7日(水) 14:00～16:00			議論された意見について 第1回、第2回の議論の内容をとりまとめた「公開懇話会でのご意見(案)」についてご議論いただきました。

ご参加いただいた団体の分野、団体数は以下のとおりです。

表 27 公開懇話会参加者（分野及び団体数）

分野	参加団体数
空港周辺地域関係者等	4 団体
空港関連事業者等	3 団体
航空関係事業者等	1 団体
交通事業者等	3 団体
利用企業等	1 団体
市民団体等	5 団体
合計	17 団体



図 31 会場の様子(第 1 回公開懇話会)



図 32 会場の様子(第 2 回公開懇話会)



図 33 会場の様子(第 3 回公開懇話会)

ホームページに図 34 のとおり実施状況を掲載しました。

**福岡空港のPIって何?**

**PIレポート(ステップ3)はこちら!**

**PIレポート(ステップ3)へのご意見はこちら**

ご意見をお待ちしています

- サイトマップ -

<基礎情報>

- 福岡空港の総合的な調査に係るPI活動(公表資料一覧)
- PI手法の紹介

<PI(ステップ3)>

- PI(ステップ3)実施計画(PDF:971KB)
- PIレポート(ステップ3)
- PI活動の実施

<PI(ステップ2)>

- PI(ステップ2)実施計画(PDF:364KB)
- PIレポート(ステップ2)
- PI活動の実施
- PI(ステップ2)のQ&A
- PI(ステップ2)の終了

<PI(ステップ1)>

- PI(ステップ1)実施計画(PDF:253KB)
- PIレポート(ステップ1)
- PI活動の実施
- PI(ステップ1)のQ&A
- PI(ステップ1)の終了

<福岡空港調査連絡調整会議>

- 開催要領
- 福岡空港調査連絡調整会議
- これまでの記録・資料
- いただいたご意見への回答など

<その他>

- よくあるQ&A
- 広報資料ライブラリー
- 関連組織リンク集

(PIの監視・助言機関)

**福岡空港調査PI有識者委員会**

→新着情報(19.11.16)

**PI活動の実施結果**

## Step-3 公開懇話会

**■ 実施概要**

公開懇話会では、様々な分野の懇話会参加者の皆様にお集まりいただき、PIレポート(ステップ3)の内容について、相互に意見交換を行い、広い視点からのご意見をいただきました。

第1回は、「対応方策の検討」について、第2回は、「評価の視点」についてご議論いただきました。そして、第3回の公開懇話会において、第1回、第2回の議論の内容をとりまとめた「公開懇話会でのご意見(案)」についてご議論いただきました。

ご議論を経て、取りまとめた「公開懇話会でのご意見」については、以下のファイルをご覧ください。

[公開懇話会でのご意見](#)

[公開懇話会実施要領](#)についてはこちらをご覧ください。

**■ 開催日時等**

	日時	場所	人数	議論のテーマと概要	配布資料
第1回	10月24日(水) 14:00~16:00	福岡県吉塚合同庁舎	17名	●対応方策の検討について「近隣空港との連携方策」「現空港の滑走路増設」「新空港」の方策ごとに、ご議論いただきました。	
第2回	10月31日(水) 14:00~16:00			●評価の視点についてPIレポート(ステップ3)に挙げられた5つの視点ごとに、ご議論いただきました。	
第3回	11月7日(水) 14:00~16:00			●議論された意見について第1回、第2回の議論の内容をとりまとめた「公開懇話会でのご意見(案)」についてご議論いただきました。	

**■ 参加者等**

ご参加いただいた団体の分野、団体数以下のとおりです。

公開懇話会参加者(分野及び団体数)

分野	参加団体数
空港周辺地域関係者等	4団体
空港関連事業者等	3団体
航空関係事業者等	1団体
交通事業者等	3団体
利用企業等	1団体
市民団体等	5団体
合計	17団体

ページが表示されました

インターネット

図 34 公開懇話会の実施状況

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## オープンハウス 実施結果

## 8. オープンハウス実施結果

福岡県内及び県外（佐賀県）のショッピングセンター等において、P Iレポートの内容を自由に見てもらえるよう、レポートの内容をパネルにしたものを展示したり、レポートや関係資料等を自由に持ち帰ることが出来るよう配置した、オープンハウスを開催しました。オープンハウス会場では、説明員を配置し、必要に応じて個別に説明を行いました。

また、パネル等をご覧になった方々が、後日郵送やF A Xで意見を提出できるよう、意見記入はがきを設置するとともに、その場で意見を提出できるよう、意見記入場所、記入済みはがき回収ボックスを設置しました。さらに、会場周辺でエコバッグやティッシュを配布しました。

開催後、ホームページに実施状況を掲載しました。

表 28 オープンハウス実施結果

開催場所	開催日	来場者数 及び配布数
【福岡市内】 三越ライオン広場	平成 19 年 9 月 23 日（日）・24 日（月） 10：00～19：00	来場者 1,018 人 配布数 1,156 部
ショッパーズモールマリナタウン	平成 19 年 10 月 27 日（土）・28 日（日） 10:00～19:00	来場者 640 人 配布数 1,679 部
【福岡地区】 THE MALL 春日	平成 19 年 9 月 29 日（土）・30 日（日） 10：00～19：00	来場者 834 人 配布数 1,489 部
福岡東サティ	平成 19 年 10 月 6 日（土）・7 日（日） 10:00～19:00	来場者 427 人 配布数 1,492 部
【北九州地区】 リバーウォーク北九州	平成 19 年 9 月 29 日（土）・30 日（日） 10：00～19：00	来場者 417 人 配布数 1,194 部
【筑豊地区】 イオンショッピングタウン穂波	平成 19 年 10 月 13 日（土）・14 日（日） 10：00～19：00	来場者 297 人 配布数 1,296 部
【筑後地区】 ゆめタウン久留米	平成 19 年 10 月 13 日（土）・14 日（日） 10：00～19：00	来場者 612 人 配布数 1,510 部
【その他の地区】 ゆめタウン佐賀	平成 19 年 10 月 6 日（土）・7 日（日） 10：00～19：00	来場者 682 人 配布数 1,455 部
合計		来場者 4,927 人 配布数 11,271 部

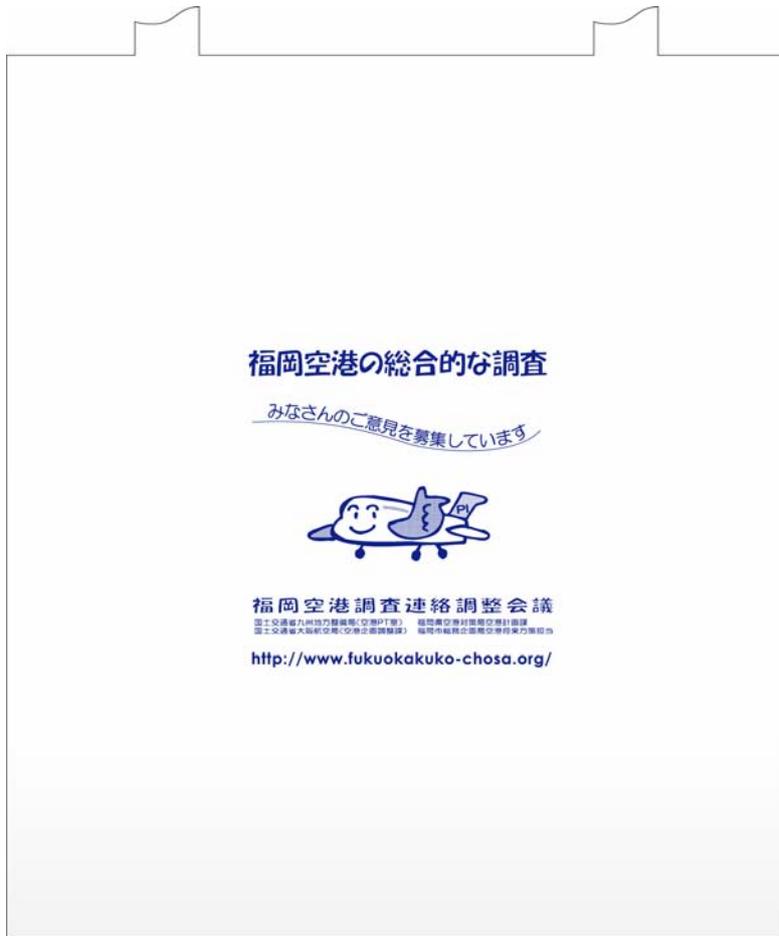


図 35 エコバッグ



図 36 ポケットティッシュ

福岡市内

- ・開催場所 三越ライオン広場
- ・開催日時 平成 19 年 9 月 23 日(日)、24 日(月) 10:00～19:00
- ・来場者数 1,018 人(1 日目 586 人、2 日目 432 人)



図 37 ご意見をご記入いただいている様子



図 38 説明員による説明の状況

福岡市天神の三越ライオン広場において、2 日間にわたりオープンハウスを開催しました。

両日中に、1,018 人の方が来場され、P I レポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,156 部の P I レポートを配布しました。

- ・開催場所 ショッピングモールマリナタウン
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 27 日(土)・28 日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 640 人(1 日目 350 人、2 日目 290 人)



図 39 パネルをご覧いただいている様子



図 40 説明員による説明の状況

福岡市西区のショッピングモールマリナタウンにおいて、2 日間にわたりオープンハウスを開催しました。

両日中に、640 名の方が来場され、P I レポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,679 部の P I レポートを配布しました。

## 福岡地区

- ・開催場所 THE MALL 春日
- ・開催日時 平成 19 年 9 月 29 日(土)、30 日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 834 人( 1 日目 329 人、 2 日目 505 人 )



図 41 説明員による説明の状況



図 42 会場の様子

春日市の THE MALL 春日において、2 日間にわたりオープンハウスを開催しました。両日中に、834 人の方が来場され、P I レポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,489 部の P I レポートを配布しました。

- ・開催場所 福岡東サティ
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 6 日(土)、7 日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 427 人( 1 日目 225 人、 2 日目 202 人 )



図 43 説明員による説明の状況



図 44 ご意見をご記入いただいている様子

志免町の福岡東サティにおいて、2 日間にわたりオープンハウスを開催しました。両日中に、427 人の方が来場され、P I レポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,492 部の P I レポートを配布しました。

### 北九州地区

- ・開催場所 リバーウォーク北九州
- ・開催日時 平成 19 年 9 月 29 日(土)、30 日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 417 人(1 日目 175 人、2 日目 242 人)



図 45 説明員による説明の状況



図 46 ご意見をご記入いただいている様子

北九州市のリバーウォーク北九州において、2 日間にわたりオープンハウスを開催しました。

両日中に、417 人の方が来場され、P I レポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,194 部の P I レポートを配布しました。

### 筑豊地区

- ・開催場所 イオンショッピングタウン穂波
- ・開催日時 平成 19 年 10 月 13 日(土)・14 日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 297 人(1 日目 73 人、2 日目 224 人)



図 47 ご意見をご記入いただいている様子



図 48 パネルをご覧いただいている様子

飯塚市のイオンショッピングタウン穂波において、2 日間にわたりオープンハウスを開催しました。

両日中に、297 人の方が来場され、P I レポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,296部のP Iレポートを配布しました。

#### 筑後地区

- ・開催場所 ゆめタウン久留米
- ・開催日時 平成19年10月13日(土)・14日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 612人(1日目197人、2日目415人)



図 49 ご意見をご記入いただいている様子 図 50 パネルをご覧いただいている様子

久留米市のゆめタウン久留米において、2日間にわたりオープンハウスを開催しました。

両日中に、612の方が来場され、P Iレポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,510部のP Iレポートを配布しました。

#### その他の地区

- ・開催場所 ゆめタウン佐賀
- ・開催日時 平成19年10月6日(土)、7日(日) 10:00～19:00
- ・来場者数 682人(1日目213人、2日目469人)



図 51 会場の様子

図 52 説明員による説明の状況

佐賀市のゆめタウン佐賀において、2日間にわたりオープンハウスを開催しました。

両日中に、682の方が来場され、P Iレポートの内容を記載した展示パネルをご覧い

ただいたり、説明員による説明を受けていただきました。

また、会場付近も含め、1,455部のPIレポートを配布しました。

ホームページに図 53 のとおり実施状況を掲載しました。

The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of the Fukuoka Airport Study Commission. The page title is "福岡空港調査連絡調整会議" (Fukuoka Airport Study Commission) and the subtitle is "福岡空港の総合的な調査" (Comprehensive Study of Fukuoka Airport). The main content area is titled "PI活動の実施結果 Step-3 オープンハウス" (PI Activity Implementation Results Step-3 Open House). It lists the event details for Fukuoka City: "開催場所 三越ライオン広場" (Venue: Sanyo Lion Plaza), "開催日時 平成19年9月23日(日)、24日(祝)10:00~19:00" (Date/Time: Sept 23-24, 2007), and "来場者数 1,018名(1日目586名、2日目432名)" (Attendees: 1,018 total). Below the text are two photographs: one showing people at a table with a laptop, and another showing a staff member explaining a display. A text box below the photos states: "福岡市中央区の三越ライオン広場において、2日間にわたりオープンハウスを開催しました。両日中に、1,018名の方が来場され、PIレポートの内容を記載した展示パネルをご覧いただいたり、説明員による説明を受けていただきました。また、会場付近も含め、1,156部のPIレポートを配布しました。" (An open house was held at Sanyo Lion Plaza in Fukuoka City for two days. During both days, 1,018 people attended, viewed display panels with PI report content, and received explanations from staff. Additionally, 1,156 PI reports were distributed throughout the venue area.) The sidebar on the left contains a "サイトマップ" (Site Map) with links to various sections like "福岡空港のPIって何?" (What is PI at Fukuoka Airport?), "PIレポート(ステップ3)はこちら!" (PI Report Step 3 Here!), and "PIレポート(ステップ3)へのご意見はこちら" (Your opinion on PI Report Step 3 Here!).

図 53 オープンハウスの実施状況

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 福岡空港見学会 実施結果

## 9 . 福岡空港見学会実施結果

福岡空港見学会では、福岡空港及び新北九州空港のターミナル施設や関連施設などをご見学いただき、利用状況やP Iレポートなどについての説明を行いました。

また、開催後、ホームページに実施状況を掲載しました。

表 29 福岡空港見学会実施結果

開催日	参加人数
平成 19 年 10 月 21 日(日) 10:00 ~ 16 : 00	37 人



図 54 見学会の様子(1)



図 55 見学会の様子(2)

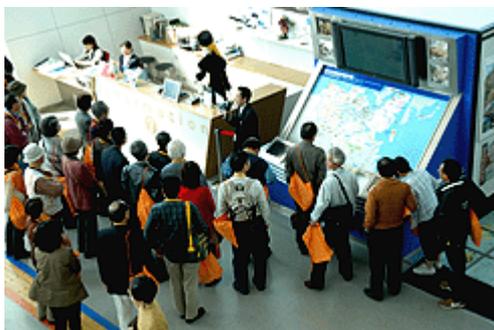


図 56 見学会の様子(3)



図 57 見学会の様子(4)

ホームページに図 58 のとおり実施状況を掲載しました

福岡空港調査連絡調整会議～福岡空港の総合的な調査～ - Microsoft Internet Explorer

福岡空港調査連絡調整会議  
Fukuoka Airport Study Commission  
～福岡空港の総合的な調査～  
Comprehensive Study of Fukuoka Airport

トップページ > [PI活動の実施]PI活動の実施結果(ステップ2) → トップページ  
| 意見発表会 | 見学会 | 説明会 | オープンハウス | インフォメーションコーナー |

● PI活動の実施結果

## Step-3 福岡空港見学会

■ 開催概要

- 日 時 2007年10月21日(日)10:00～16:00
- 見学先 福岡空港ターミナルビル・場周道路、新北九州空港
- 参加数 中学生以上37名

見学会の様子(1)

見学会の様子(2)

見学会の様子(3)

見学会の様子(4)

空港見学会では、福岡空港及び新北九州空港のターミナル施設や関連施設などをご見学いただき、利用状況やPIレポートなどについての説明を行いました。

このホームページに関して、みなさんよりご意見やご感想をお待ちしております。  
福岡空港の総合的な調査およびPI活動等についてのお問い合わせ先

福岡空港調査連絡調整会議(九州地方整備局 大阪航空局 福岡県 福岡市)

(DI)の趣旨・助言(総研)

インターネット

図 58 見学会の実施状況

福岡空港の総合的な調査に係る P I (ステップ 3)

## 福岡空港意見発表会 実施結果

## 10 . 福岡空港意見発表会実施結果

意見発表会当日は、一般参加として 136 名の方々にご参加いただきました。

意見発表会の、第 1 部（意見発表）では、11 名の発表者が各々の思う福岡空港の将来のあり方について研究成果の発表を行いました。続いて、第 2 部（意見交換）では、発表者同士の意見交換の他、一般参加者から発表者への意見、要所で有識者からのコメントをいただきながら進められました。

表 30 福岡空港意見発表会実施結果

開催場所	開催日	発表者	参加人数
アクロス福岡 7 階 (大会議室)	平成 19 年 11 月 5 日(月) 13:00 ~ 16:00 第 1 部 (意見発表) 第 2 部 (意見交換)	11 人	136 人

表 31 意見発表会 当日発表順

No	氏名(敬称略)	タイトル
1	三宅真仁	日本一の良か空港ば残さんですか
2	豆塚慶治朗	21 世紀の空港にふさわしい、省エネ、省資源の近未来都市空港のモデルとなる様、土木、建築、IT などハイテク技術を結集する
3	山下豊治	海上空港を否定する
4	椎場裕	福岡空港 将来需要への対応方策の検討
5	陣内正人	新福岡空港は博多湾能古島東海上で
6	C&C21 研究会	福岡市のグランドデザインを空港の観点から考える
7	糸島半島新空港誘致推進協議会	糸島半島新空港計画
8	脇義重	私が新福岡空港(拡充)を要らないと思う理由
9	牧忠孝	現空港で充分
10	湊直樹	飛行機の腹を見たいですか？轟音とともに
11	矢住勝大	福岡空港をアジアのハブ空港へ

表 32 意見発表会（第 2 部）で総評等を行った有識者

視点	有識者
空港・航空計画	高田 和幸 (東京電機大学准教授)
運航・運用	山下 善三 (民間航空会社OB)
地域・市民	中川 茂 (西日本新聞社経営企画委員会副委員長)

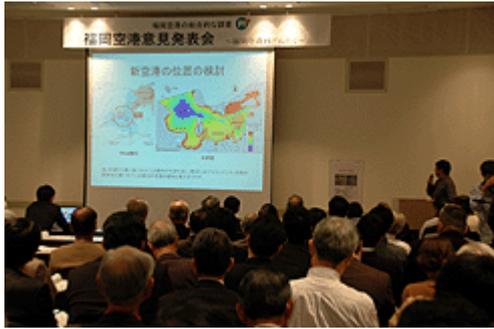


図 59 意見発表の様子



図 60 意見交換の様子



図 61 一般参加者からの意見の様子



図 62 発表者のパネル展示

ホームページに図 63 のとおり実施状況を掲載しました。

福岡空港調査連絡調整会議  
Fukuoka Airport Study Commission  
～ 福岡空港の総合的な調査 ～  
Comprehensive Study of Fukuoka Airport

トップページ | [PI活動の実施]PI活動の実施結果(ステップ3) | 意見発表会 | 見学会 | 説明会 | 出前説明会 | オープンハウス | 懇談会 | 懇話会 | インフォメーションコーナー

福岡空港のPIって何?  
PIレポート(ステップ3) は、ごちそう!  
PIレポート(ステップ3)へのご意見はこちら

PI活動の実施結果  
Step-3 意見発表会 -福岡空港PIどんたく-

福岡市内

- 日時 2007年11月5日(月) 13:00-16:00
- 会場 アクリス福岡 7階(大会議室)
- 内容 第1部(意見発表) | 第2部(意見交換)

意見発表の様子

意見交換の様子

一般参加者からの質問の様子

発表者のパネル展示

第1部 意見発表 発表順

No	氏名 (敬称略)	タイトル
1	三宅 真仁	日本一の良か空港は残さんですか
2	豆塚 慶治朗	21世紀の空港にふさわしい、省エネ、省資源の近未来都市空港のモデルとなる様、土木、建築、ITなどハイテク技術を結集する
3	山下 豊治	海上空港を否定する
4	椎場 裕	福岡空港 将来需要への対応方策の検討
5	陣内 正人	新福岡空港は博多湾能古島東海上で

図 63 意見発表会の実施状況

## 意見発表者資料

- ①日本一良か空港ば残さんですか  
発表者 三宅 真仁
- ②21世紀の空港にふさわしい、省エネ、省資源の近未来都市  
空港のモデルとなる様、土木、建築、ITなどハイテク技術  
を集結する  
発表者 豆塚 慶治朗
- ③海上空港を否定する  
発表者 山下 豊治
- ④福岡空港 将来需要への対応方策の検討  
発表者 椎場 裕
- ⑤新福岡空港は博多湾能古島東海上で  
発表者 陣内 正人
- ⑥福岡市のグランドデザインを空港の観点から考える  
発表者 C&C21研究会
- ⑦糸島半島新空港計画  
発表者 糸島半島新空港誘致推進協議会
- ⑧私が新福岡空港（拡充）を要らないと思う理由  
発表者 脇 義重
- ⑨現空港で充分  
発表者 牧 忠孝
- ⑩飛行機の腹を見たいですか？ 轟音とともに  
発表者 湊 直樹
- ⑪福岡空港をアジアのハブ空港へ  
発表者 矢住 勝大

※各発表者の資料については、右上に番号を記載しています。

2007/11/5

# 福岡空港意見発表会

## ～福岡空港 PI どんたく～

日本一の良か空港ば残さんですか！

福岡県筑紫郡那珂川町在住  
三宅 真仁

### 行政方針について一言

- 北海道夕張市生まれ 現在は那珂川町在住 福岡を気に入り、永住するつもりです。
- ご存知の通り、財政再建団体となってしまった生まれ故郷の夕張市...
- 第二の故郷～終の住処の福岡は、その二の舞になって欲しくない！（西日本新聞記事参照）
- 赤字を生む箱物行政に終止符を打って欲しい！
- 国内人口は昨年から減少に転じ・少子高齢化（出生率1.3以下）で国民の移動数は減少する？
- 国際線利用者は、北九州からの出発も我慢できる！
- これを移転で無くすのは、どう考えてももったいない！



## 福岡空港の利便性

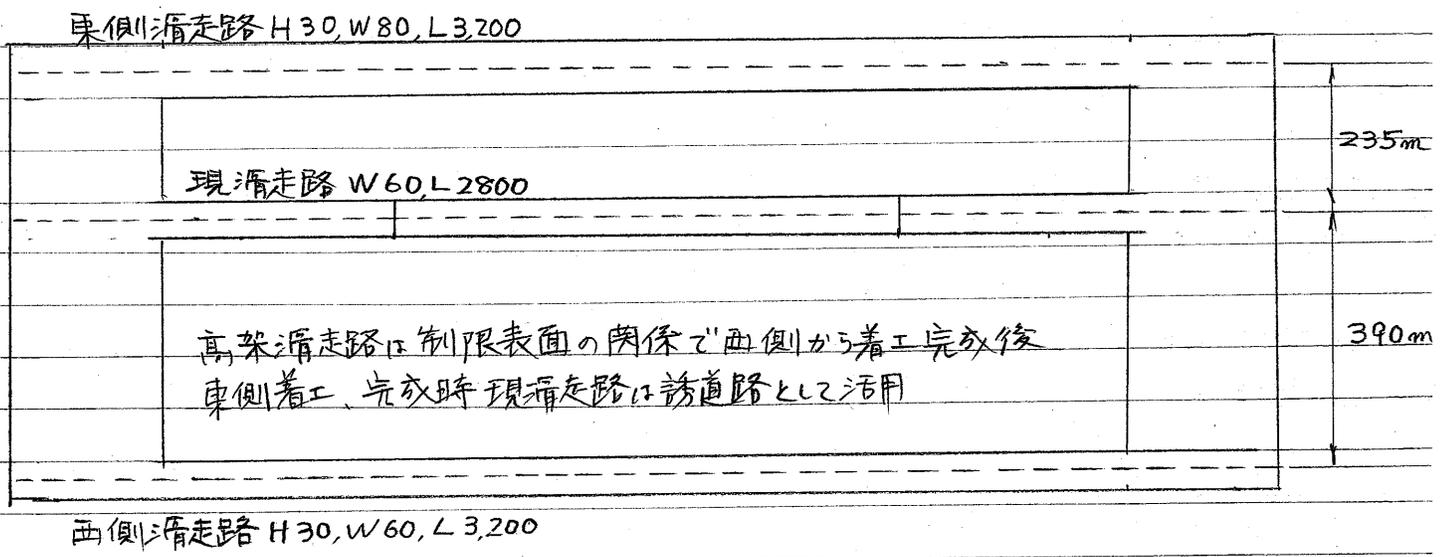
- 今年はずでに50回以上、福岡空港を利用している私の意見と希望です。
- 全国どの空港と比べても、その利便性は最高。
- 約20年福岡で暮らしており、時々見上げる飛行機の姿も音も、最高の利便性には換え難いと思っています。
- 郡部の自宅まで、空港から一時間以内の仕事環境は、誇らしいものです。
- 東京からの出張者も福岡市内へのアクセスに感動して帰ります。
- 全国に誇れる、福岡空港を残さんですか！！

21世紀の空港にふさわしい、省エネ、省資源の近未来都市空港のモデルとなる様、土木、建築、IT、などハイテク技術を結集する。

### コンセプト

1. 空港周辺の環境を破壊せず、空港機能の倍増を目指す
2. 空港建設はもとより、完成後もCO<sub>2</sub>排出量と最りにおける。
3. 空港機能ならびに利便性の向上はもとより、投資額以上の経済的波及効果を創出する。

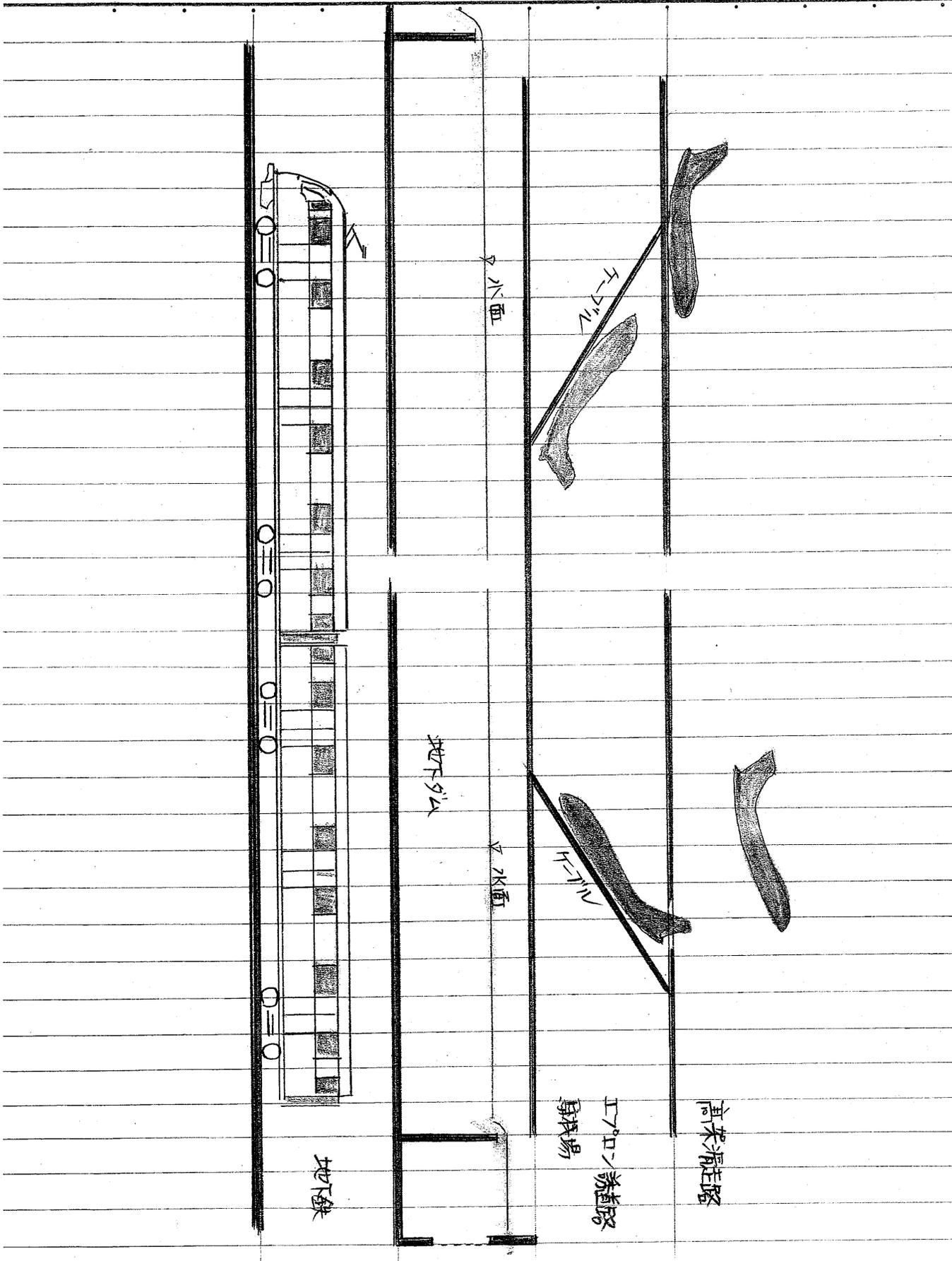
現空港を運用しつつ、高架型滑走路を建設する



### 高架式滑走路の特徴

- ・ クロスパラレル 新設滑走路精密進入方式 H30, W80×1260, L3,200×2
- ・ 空港処理能力 現行の2倍以上
- ・ 国際線側に国内線ターミナルを一体化、地下鉄の分岐又は延伸
- ・ 空港用地 北西及び南西約10.9ha 拡張
- ・ コントロールタワー 設置は制限表面の制約を凌げ、為空港敷地外となる
- ・ エアロン、駐機場は滑走路と上下に分岐する為拡張する
- ・ 博多駅、天神地域の高さ制限が緩和され建築物の容積率が拡大する
- ・ 地下ダム設置の場合、御笠川による洪水を制御し、蓄えた水は中水道として活用

福岡空港立体概念図



海上空港と否定可

山下豊治

福岡空港の抱える問題と解消のためには

- 1. 近隣空港への機能分担を促す。
- 2. a. 短期的には滑走路の新設(西側配置)
- b. 長期的には海上空港への移設。

本研究機関の資料を提起した。2113。

然し、海上空港建設費(1~1.1兆)は余り少ない可なり、  
 主体となる国の財政は安定成長への移行後は年々  
 減少して2113年頃に補完する県の財政も同様あり。

表1.

--	--

表2.

海上空港建設は資金面からみれば、絶望的である。

結論として、1. および 2a(滑走路の新設)にとどめるべき所なり  
 (機能分担)

山下豊治 資料 (海上空港と航空)

① 一般会計、特別会計、政府関係機関、地方普通会計歳出額及び財政投融资額(昭和50年度～平成15年度)  
 EXPENDITURE OF GENERAL ACCOUNTS AND SPECIAL ACCOUNTS OF THE NATIONAL GOVERNMENT, GOVERNMENT-AFFILIATED AGENCIES AND ORDINARY ACCOUNTS OF LOCAL GOVERNMENTS AND VALUE OF THE TREASURY INVESTMENTS AND LOANS (F.Y. 1975~2003)

(31ページ「財政歳入及び歳出」参照。 See page 133 "Revenue and expenditure of public finance.")

(単位 10億円)

(In billions of yen)

年度 Fiscal year	一般会計 歳出 Expenditure of general accounts of the national government (A)	特別会計 歳出 Expenditure of special accounts of the national government (B)	政府関係 機関歳出 Expenditure of government- affiliated agencies (C)	財政投 融資額 Value of treasury investments and loans (D)	地方普通 会計歳出 Expenditure of ordinary accounts of local governments (E)	一般会計及び特別会計純計 Net total of general accounts and special accounts of the national government			一般会計及び地方普通会計純計 Net total of general accounts of national government and ordinary accounts of local governments		
						重複額 Duplications (D) 1)	国債整理基 金特別会計 における借 換償還額 (E) 4)	純計額 Net total (A+B- D-E)	国から地方に 対する支出 Disbursements of the national government to local governments (F) 2)	地方から国に 対する支出 Disbursements of local governments to the national government (G) 3)	純計額 Net total (A+C- F-G)
昭和50年 1975	20,861	33,876	12,605	10,561	25,654	20,750	416	33,571	9,236	20	37,259
55 1980	43,405	83,946	20,754	18,104	45,781	54,130	290	72,931	18,164	37	70,986
60 1985	53,005	111,775	13,952	20,491	56,293	64,988	8,957	90,834	20,334	59	88,906
平成2年 1990	69,269	168,584	5,165	35,814	78,473	102,283	18,711	116,858	27,548	87	120,107
7 1995	75,939	232,466	7,536	42,189	98,945	127,703	25,377	155,325	27,391	94	147,398
12 2000	89,321	305,776	6,988	34,966	97,616	143,467	52,164	199,466	29,770	50	157,118
13 2001	84,811	363,337	6,628	24,211	97,432	145,797	54,007	248,343	31,804	49	150,390
14 2002	83,674	373,898	5,997	19,647	94,839	149,448	62,748	245,376	29,669	42	148,802
15 2003	82,416	357,691	5,206	19,009	92,582	141,101	68,153	230,854	30,558	44	144,395

1) 一般会計、特別会計間の繰入関係、特別会計相互間及び勘定間の繰入関係、資金運用による利子の支払、受取等。 2) 地方交付税交付金、地方特例交付金、国庫支出金、国有財産所在市町村交付金等。 3) 国の一般会計歳入の公共事業負担金。 a) 突給見込額。

② A 経費負担、事業目的別投資実績(昭和60年度～平成15年度)

RECORDS OF ADMINISTRATIVE INVESTMENT BY COST ALLOTMENT AND WORK PURPOSE (F.Y. 1985~2003)

(単位 10億円)

(In billions of yen)

年度、経費負担区分 Fiscal year and burden share	総額 Total investment	産業基盤投資 Industry investment									
		計 Total	市町村道 City, town and village roads	計 Total	国道道 National highways and prefectural roads	港湾 Harbours	空港 Airport	工業用水道 Industrial water	文教施設 Educa-tional facilities	水道 Water supplies	
昭和60年 1985	26,506	11,966	1,475	4,902	4,104	565	154	80	2,642	1,122	
平成2年 1990	36,794	17,575	2,143	7,222	6,041	770	323	88	3,347	1,365	
7 1995	50,894	24,493	2,522	9,758	8,097	1,094	470	96	4,087	1,722	
12 2000	41,391	19,222	2,060	9,155	7,951	870	255	78	2,838	1,578	
13 2001	38,449	18,004	1,946	8,585	7,449	797	279	59	2,657	1,484	
14 2002	35,903	16,470	1,808	8,314	7,240	748	270	57	2,121	1,474	
15 2003	31,594	15,166	1,661	7,008	6,055	658	233	63	2,429	1,373	
国 都 道 府 県 市 町 村	National government 11,926 Prefectures 8,529 Cities, towns and villages 11,138	4,002 2,509 8,656	108 26 1,526	3,896 2,841 272	3,386 2,556 113	324 196 137	181 43 8.5	4.5 44 14	692 466 1,270	127 311 935	

日本統計年鑑 第56回 平成19(2007)  
 財政統計部 総務府

## 福岡空港 将来需要への対応方策の検討 ～海ノ中道・雁ノ巣・アイランドシティ地区 新福岡空港案～

椎場 裕

### コンセプト『日本からアジアへの、そしてアジアから日本へのゲートウェー空港』

項目	内容	理由(詳細)
建設する場所	海ノ中道・雁ノ巣・アイランドシティ地区	都心部からの距離・人口密度・平坦性・施工性・建設費等を考慮。
滑走路の向き	Rwy16/34	冬季の季節風(北西風)を考慮。
滑走路の長さ	3,000mと2,500m	国際線対応及び建設場所で確保できる最大限の滑走路長。 2,500m滑走路は用地的に延長が可能であれば、可能な限り延長する。
滑走路の本数・配置	オープンパラレル 3,000m×1本 2,500m×1本 滑走路と滑走路の間隔は1,310m ※オープンパラレルでの最小間隔	将来の需要に対応する為。 空港の建設費を抑える為、オープンパラレルでの最小間隔である1,310mに設定。 離着陸可能回数は、約30万回(6:00～24:00)と想定。 24:00～6:00は、騒音や滑走路の点検等を考慮して民間定期便は1日6便(離着陸回数12回/日)とする。 22:00～7:00は、騒音を考慮して3,000m滑走路だけで離着陸を行う。
空港面積	564ha	(1,310m+300m)×3,500m=5,635,000m <sup>2</sup> ≒564haと同等の面積を確保。 564haで空港面積が足りない場合には、アイランドシティの用地を使用する。
空港対応基準	ICAO基準『コードF』	エアバスA380に対応する為。 ※B787やA350は長距離(福岡～欧米)が可能です。

※工法は埋立法を主に採用し、水の流れを確保する必要がある箇所については橋樑工法も採用する。

#### 新空港に関する諸問題について

空港アクセス	道路系	空港アクセスとしては特に整備しない。
	鉄道系	・博多駅～新福岡空港駅 分岐新線約4km 11分(各駅停車) ・天神駅～新福岡空港駅 分岐新線約4km 21分(各駅停車)
	運営形態	・鹿児島本線分岐新線区間 運行会社 JR九州 第2種鉄道事業者 ・箱崎線延伸区間 運行会社 福岡市地下鉄 第2種鉄道事業者 (将来的には博多駅～新福岡空港駅に九州新幹線の乗り入れも検討する。) ・鹿児島本線分岐新線および箱崎線延伸区間 鉄道下物管理会社 新福岡空港線 第3種鉄道事業者
事業費	埋立費	3,430億円(アイランドシティの施工単価より)
	空港ターミナルビル等建設費	1,600億円(新福岡空港基本構想より)
	滑走路等建設費	1,500億円(新福岡空港基本構想より)
	空港アクセス鉄道事業費	1,610億円(鹿児島本線分岐新線および箱崎線延伸区間)
	漁業補償費	148億円(神戸空港の事例より)
	総事業費	8,288億円
玄海国定公園への影響	空港敷地は抵触しない。進入灯のみ抵触。	
空域	他の管制区と進入経路が重なることはない。	
横風	問題無し。	
高さ制限	安全上問題無し。	
騒音	運用を工夫することにより減少させることが可能。	

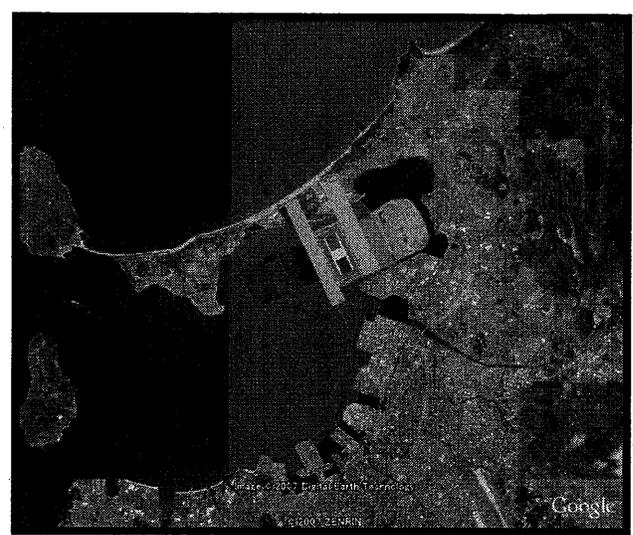
※埋立費には、港湾施設整備費、航路浚渫費、道路整備費等を含む。  
 ※香椎パークポート、アイランドシティの両コンテナターミナルは公設民営の上下分離方式で運営されています。  
 ・現空港並みの利便性の確保と事業費を少なくすることを優先して空港を配置しました。  
 ・空港会社を上下一体で民営化した場合、関西国際空港や中部国際空港との事業費や利用状況等の比較から充分黒字化が可能であると考えられます。  
 ・本私案のより詳しい内容については  
<http://fukuoka-airport.sakura.ne.jp/web/new-rjff/index.shtml>  
 をご覧下さい。

## 福岡空港 将来需要への対応方策の検討 ～海ノ中道・雁ノ巣・アイランドシティ地区 新福岡空港案～

椎場 裕



詳細配置図



広域配置図

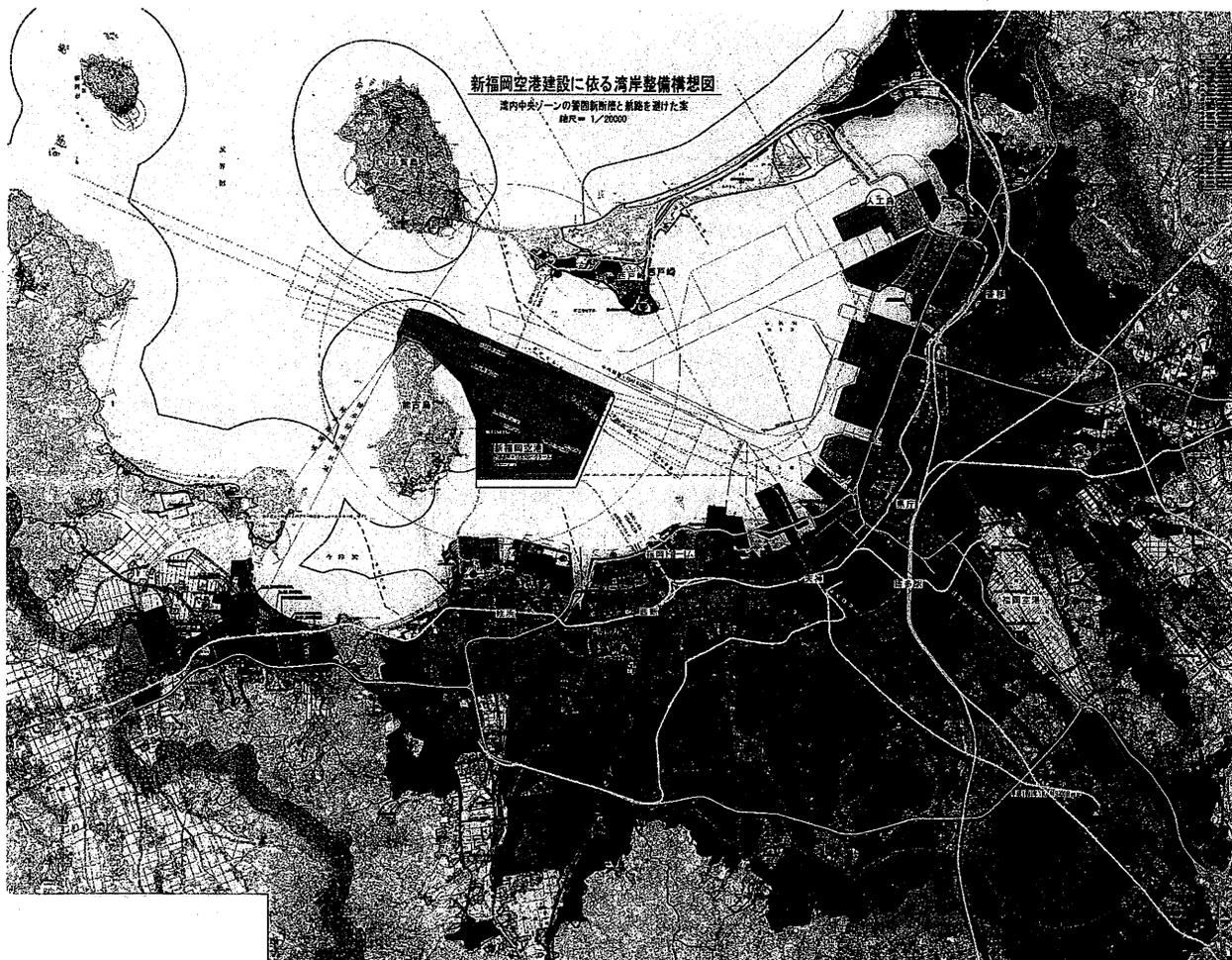
位置		海ノ中道・雁ノ巣・アイランドシティ地区	
周辺自然・都市環境		ゾーン北側には玄海国定公園、周辺一円には市街化区域が広がる。北東側には磯崎鼻、西側には能古島や志賀島が存在する。	
水深条件	ゾーン内の平均水深	平均4m程度	
利便性	博多駅から新福岡空港駅までの距離および時間	約8.4km 11分(各駅停車)	
	天神駅から新福岡空港駅までの距離および時間	約9.5km 21分(各駅停車)	
制限表面	進入表面	確保可能	
	転移表面	確保可能	
	水平表面	※)両側とも確保できない	
社会環境	法的規制等	国定公園への抵触状況	空港敷地は抵触しない 進入灯は抵触する
	周辺社会基盤への影響	既存周辺施設移設等	アイランドシティ・香椎パークポートの港湾施設を新福岡空港の西側へ移設
自然環境	配慮すべきと考えられる事項		自然海岸、漁場など
滑走路処理容量		運用時間は24時間であるが騒音を考慮して 6:00～24:00 30万回/年 0:00～6:00 民間定期便は1日6便 (離着陸回数12回/日)にすると想定	
建設	空港敷地面積		約564ha ((1,310m+300m)×3,500m÷2=5,635,000m <sup>2</sup> ≒564ha)
	総事業費		8,288億円 (護岸・埋立、滑走路等の基本施設、ターミナル施設、アクセス施設、漁業補償費用など)
	工事期間		三苦・新宮ゾーンや志賀島・奈多ゾーンよりも短い(13年未満) (漁業補償、環境アセスメント等の期間は含まない)
	建設上の留意点		博多湾内船舶の運航への影響

※)規定によれば、一定の手続きによって両側の水平表面内に抵触物件の存在が許容されることになる。  
(福岡空港PIステップ3 PILレポート詳細版『コラム13 制限表面について』より)

# 新福岡空港は博多湾能古島東海上で

新福岡国際ハブ空港を考える会  
発表者 考える会代表 陣内正人

私達はアジアゲート、極東の24時間運用国際ハブ空港を目指します。  
跡地は九州道庁等、都心の超高層ビル建設が可能になります。  
そこで博多湾内中央ゾーンで空港はできないだろうか？



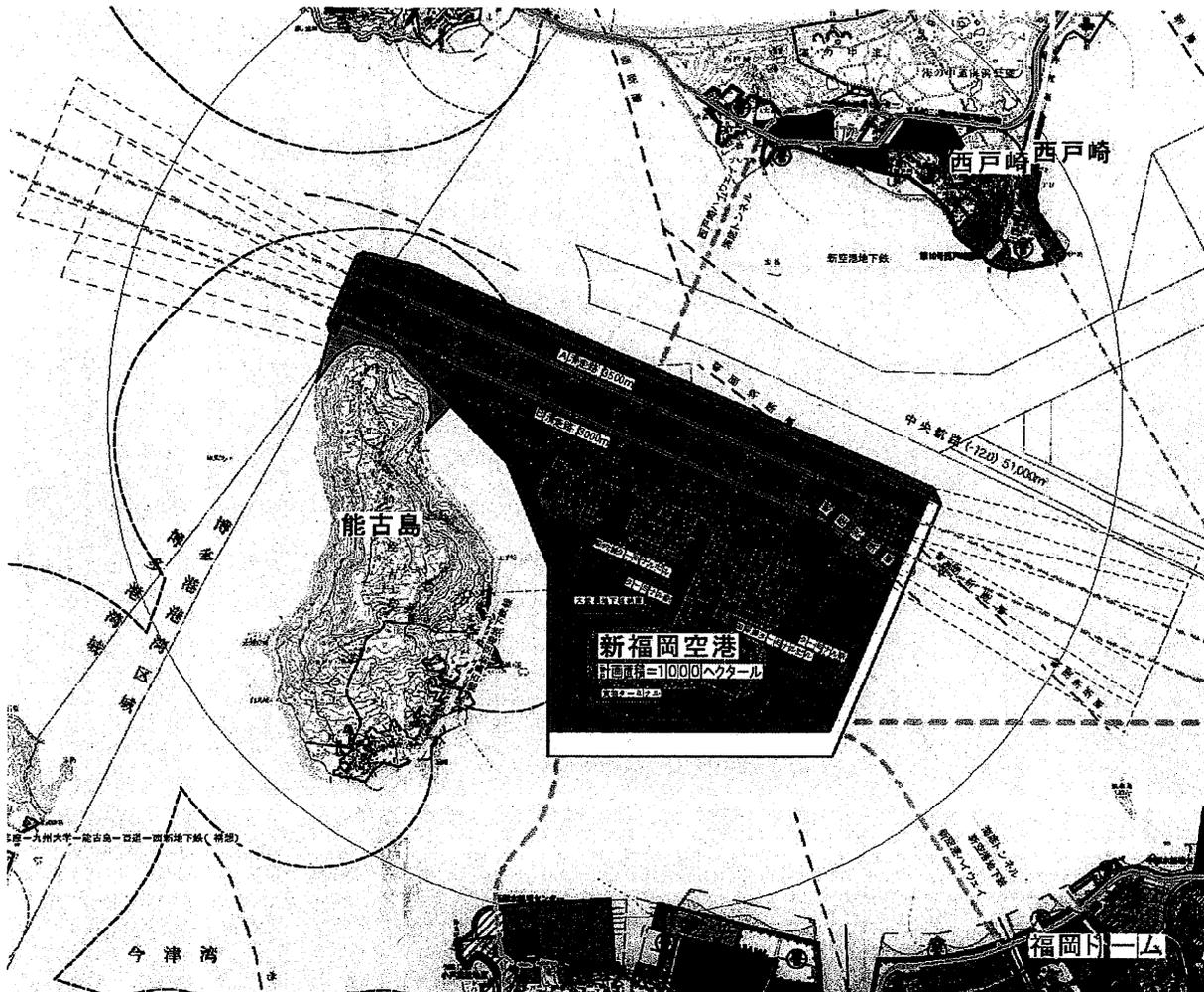
空港建設で湾岸交通網整備も連動した博多湾内中央ゾーンの優位性がある。

1. 穏やかな博多湾内で平均水深8mで干拓工事がしやすい。
2. 百道の福岡ドームと西戸崎を海底トンネルで直結。
3. 博多湾内をループする交通網で都市機能が充実。
4. 新空港と連動し人口島の存在価値が上昇。
5. 台風時外海と比べて欠航や塩害が少ない。
6. 福岡天神から6kmと現空港とほぼ同距離。
7. 糸島半島への地下鉄構想の可能性もある。

問題点 能古島をとりこまない為、航路等に多少課題が残る。  
警備断層で空港ビルは免震構造、滑走路は乾燥土で干拓。

# 新福岡空港の概要

計画場所 福岡市西区能古島東海上博多湾内 面積1000ヘクタール



滑走路 北側 A 滑走路 3500m 南側 B 滑走路 3000m  
 空港ターミナル 国内線・国際線・貨物専用ターミナル  
 空港施設 地下鉄ターミナル駅 2箇所 (国内線、国際線)  
 地上駐車場 5000台 地下駐車場 2000台 飛行機格納施設  
 交通アクセス 市営地下鉄乗入 西新～新空港約5km  
 新空港～西戸崎5km  
 都市高速道乗入 百道～新空港約4km  
 新空港～西戸崎6km 小戸～新空港約3km  
 主要地距離 西鉄福岡天神 直線6km 地下鉄で15分程度

## 総事業費

総事業費7000億円は民間資金 = PFI事業による  
 空港ビル・保安施設・地下鉄・海底道路工事等含む





空港計画概要説明－国直轄以外の独立事業者による運営を目指して

1 現空港 - 立地は超便利。：時間的利用制限－騒音公害  
施設能力は超過密。14万回/年 朝夕 約32回/時 (限界平均30回/年)

2 新空港企画条件

① 自立可能な企画予測数値の最少化

現空港 離着陸 26回/時 約142000回/年 (2001年ピーク時実績)

- 自立可能な企画予測数値 約150850回/年 (2002年以後減少傾向)  
国内線1800万人 国際線300万人 合計 2100万人/年 6%UP.

② 施設規模・能力の最大化

現空港の拡張計画では25%UP：他海上空港計画 クロスパラレル50%UP

- 能力の最大化計画 オープンパラレル 3000羽2本現空港の2倍以上可。
- 航空貨物処理能力の最大化

③ 施設使用時間の自由化

現空港利用時間 15時間 (AM7-PM10) アジアの拠点としては利用時間限定されるのは国際的に開かれた空港としてはふさわしくない。

- 利用時間の自由化 24時間空港：離着陸は海上 滑走路は陸上とすることで騒音公害が最少になる。九大キャンパスとは4KM離れ (約現空港と天神間)

④ 既設都市の制限の自由化

現在空港により 博多駅近辺50M 天神近辺70Mの高度制限。

- 21世紀の都市の発展に制限のあることはそれだけでマイナス要因。未来に禍根は残すべきではない。

⑤ 開港までの時間の最少化

海上空港は技術上工事に時間が掛り 技術的不安がある。現空港拡張は周辺が市街地のため用地買収にやはり時間が掛かる。

- 計画地は標高150-240mくらいの山並が大半 海際・谷筋に畑・集落が少しある過疎地域。用地買収も土木工事も九大で実証済み。

⑥ 利便性の最適化と最大効果

現空港の利便性には及ばないが 都心より20km圏内である。また既存プロジェクトとの相乗最大効果が期待出来る。

3 運営の自立・持続可能な企画の提案

- ① 海上空港の利点・長所を備えた陸上空港
- ② 姉妹都市フォーラムによる (知+FTA)
- ③ 運営・試算

- ◇ 新福岡空港企画では面積約600畝 3000畝級滑走路を複数整備。
- ◇ 旅客面では国内第3位 (1949万人/2002年 羽田・成田の次)。  
国際旅客数 第4位 (成田・関空・名古屋の次)。
- ◇ 輸出入面では 第3位 (12144億円/2002年)
- ◇ 旅客数の見通しは 2001年をピークに減少にあるが 2003年を底に上昇し 2001年ピークに並ぶ傾向あり。(国内旅行動向に似る)
- ◇ 企画条件
  - 旅客需要量 国内線 1800万人 国際線 300万人 (開港時予測)
  - 年間離着陸回数 150850回/年 (開港時予測)
  - 需要の伸び 開港後10年 1.8% 以後1.4%
  - 建設工期 用地買収後 5年 (造成2年 施設3年)
  - 建設費 3535億円 (用地・造成費 1250億円  
施設整備費 2285億円)
  - 資金計画 長期借入金 建設費の70%  
金利 5% 償還期間 ~~40~~<sup>35</sup>年 元利均等払  
減価償却・固定資産税は建設期間中なし。  
不動産取得税は開港時一括課税とする。

- 開港時必要予定資金 用地・造成・施設費3535億円。開港時税金36億円。  
開港までの管理費・工事金利等 300億円 合計 3871億円。
- 開港後予定運転資金状況 収入429.68億円。支出 252.25億円  
差引剰余金 177.43億円。

- ① 総事業費約3900億-荒利益177億-返済出来る金額を逆算  
-1000億程度の資本金
- ② 総事業費約3900億-キャッシュフロで考えて-減価償却分の現金を返済  
に当てるとすると200億程度の資本金
- ③ 総事業費約3900億-姉妹都市フォーラムを併設-外国航空会社の乗入れ  
及び国内外の観光客の増を図る-200億程度の資本金
- ☆ 現空港ビル (6641㎡) の売上 約150億/年 本計画 (54740㎡)  
の売上 約189億 面積規模は8倍以上でさらなる増が見込める。
- ☆ 設定離着陸料は 国外50.8万円/回。国内13.4万円/回。  
(他 成田 94.8万/回 関空 82.5万/回 中部 65.5万/回)

# 半島の両端は海なので障害物がありません

走路の両端は海上  
走路の左右は山並み  
空騒音公害が少ない

近隣に空港や航空自衛隊  
基地が無いので、空域錯綜がない



## 私が新福岡空港(拡充)を要らないと思う理由

脇 義重

### はじめに

私は、滑走路を増設する必要も新空港を建設する必要がなく、現空港容量限界を超える需要が発生しても、近隣空港との連携や新幹線など陸上交通との代替で需要に対応できることを述べます。そして、交通政策の根本に資源・エネルギー問題を入れることを視点から移動需要を代替交通機関に振り分けなどによる国の総合的交通政策体系整備を提言します。そして、結論として福岡空港の現在地点での利用が当為だと訴えます。そして、付随する諸点について付言します。

### 1. 福岡空港航空需要が滑走路の限界を超える理由に根拠はない

今まで公表された拡充・新空港建設必要論はいずれも将来の空港需要が現空港の処理能力、厳密に言えば現滑走路の処理能力を超えるというものですが、その主張には合理的根拠が乏しく説得力は感じられません。PIの資料にも掲載されている将来福岡空港の発着回数(路線数)も旅客数も日本と世界経済の動向と正の相関関係にあるのですが、2000年あたりをピークとしてその双方とも減少しています。将来は次ぎの理由によってむしろ需要は減っていく傾向にあるといえます。

その理由として個々航空需要の要因である日本経済の急成長が見込めないことが挙げられます。米国住宅ローンの焦付問題に発した信用危機はG7でも短期には解消しない世界経済危機であることが確認され、IMFは世界経済の成長率を下方修正し、日本の07年度と08年度予測は2.0, 1.7ポイントに下方修正されました。日本バブル崩壊直前の数値です。米国住宅ローンが世界経済に与える影響を考えると、「失われた10年」が形を変えて起きる予兆でもあります。その期間に福岡空港に乗り入れていた国際線航空会社は廃止ないし減便しました。福岡空港を基点とする国内路線も廃止されてきました。その傾向は最近まで続いています。さらに、航空自由化によって、航空路線は航空会社の判断で増設・維持・廃止を決めるように変更されましたから、経済動向が航空路線数の増減と直結する時代を迎え、国の住民福祉の視点が後退しています。こうした福岡空港の利用者の縮小・減少傾向は福岡空港の将来のあり方を考えるうえで基本的な視点とすべきです。

さらに、日本の済成長を支えてきた日本市場が急速な少子化と高齢化の進展などによって、漸次的に縮小していくことが予想されます。子どもの数が減ってきていることは近い将来の労働生産性に影響を与え、旅行人口すなわち潜在航空需要が減少することであり、高齢者の割合が増えることは交通需要総体が減少していくことを意味します。総じて、日本経済の縮小傾向によって、絶対的な交通需要は伸び悩み、航空に振り分けられる相対的需要も減少していく傾向にあります。結論として、滑走路拡充論や新空港建設の理由として挙げられている福岡空港航空需要が滑走路の限界を超えるという理論に根拠がないのです。需要超過した場合には需要発生地での北九州空港や佐賀空港への振り分けやアクセス整備による連携で対応できます。

### 2. 交通体系整備が求められている

以上の他にも航空需要はじめ交通需要全体の伸び悩みの原因として昨今の輸入原油高があります。航空も含めて高騰した交通料金は交通需要を一層抑制することでしょう。今、資源・エネルギーの浪費と気候変動の原因のひとつに挙げられる航空機の製造や、燃料使用などから航空機の生産と運用のあり方を直す時期にさしかかっていま

すが、こうした社会的コストの面から福岡空港のあり方を考えなければなりません。福岡空港や新福岡空港へのアクセスで使用される資源・エネルギーの問題も考慮にいれなければなりません。

### 3. 滑走路増設・新福岡空港の建設とアクセス建設費の分担などの問題

1 兆円になる新福岡空港の建設費分担は膨大な国と福岡県・福岡市の財政赤字を助長します。滑走路増設費用やアクセス建設費用も含めて、一体どの行政主体がこの建設費用を受け持つのか、民間活用方式を導入するのか。新福岡空港建設の場合、24時間運用を利点として海上空港が指定されています。西風乃至西北風が強く不適な玄界灘に空港を建設する技術的困難性が指摘されていますが、騒音被害は海上ではなく周辺の地上で発生し、24時間騒音被害に苦しめられ生活に困るのはそこで暮らしている住民であることを忘れてはなりません。また、滑走路増設・新福岡建設の場合アクセス経路の位置の問題も重要です。それは立ち退きの可能性も含め地域住民の福祉の問題でもあります。現空港の騒音被害地は次々と大阪航空局に買い上げられ、街の過疎化の原因とされています。新空港が街の空洞化を招来させてはなりません。

博多湾人工島開発の失敗を糊塗するだけの目的で新空港が志賀島・奈多沖に設定されるとすれば破綻した人工島事業の救済策であり、国と福岡市が建てた新港湾計画の失敗を反省するどころか、空港建設という新たな失敗を重ねることになりかねません。

### 4. 世界と日本の自然を破壊しない航空・空港行政が求められる

漁業など自然依存の生業と海洋生物の生息地を破壊することは許されません。

### 5. 専門家と行政、国民・県民・市民が広範に討論する制度が必要

需要予測の方法などはもう一度専門家の意見を聞くシンポジウム開催が大切だとする有識者会議の座長発言は活かされていません。簡単にいえば、新空港建設という結論を導き出すために将来航空需要を指定することがPIレポートの狙いではないでしょうか。どれだけの市民がこの新福岡空港の問題に関心を示しているのでしょうか。関心が少ないのは現空港に不便を感じていないからだと思います。ただ、航空行政の進展を的確に把握する必要があるとき、多くの国民・市民が意見を述べ納得するまで討論していく制度設定が必要です。住民の拡充・新空港不要論を含めた意見が公開の場で討論され、最終意思決定に国民が参与する制度が実現することを強く望みます。

### 6. 現空港が軍事専用空港になる危険性

現福岡空港は1972年に返還され自衛隊が使用し始め、米軍は有事駐留権を保持し未だに米軍基地は機能しています。1995年から10年間に1570回米軍機が飛来しています。博多港に米空母が入港し福岡空港で艦載機訓練実施の恐れもあります。新福岡空港に軍事機能が随伴すれば、新福岡空港の建設地は軍事基地となります。

### 7. 航空需要予測の特徴と再立論の必要性

一般的に敷衍可能ですが、航空需要は他の交通供給との競合になり潜在交通需要の航空需要量への転化が企図されます。空港自体が航空需要を喚起するのです。空港単独ではなく交通政策全体から福岡空港の将来需要予測を再構築する必要があります。

### 8. まとめとして

不要不急で、しかも住民生活を圧迫し、破綻寸前の財政にありながら、一層の負担を国民・県民・市民に強い、資源・エネルギーの大量消費と自然環境の破壊となる滑走路増設や新福岡空港建設は絶対阻止すべきです。現空港の完全民間空港化を実現し、また、軍事利用することになりかねない新福岡空港は建設すべきではありません。

福岡空港意見発表会（2007. 11. 5）用レジュメ

新福岡空港ストップ連絡会 牧 忠孝

## 現空港で充分

### 1 はじめに～2つの要望

(1) 地球環境保全の視点をもちエネルギー資源の見通しを考慮に入れること

\*CO<sub>2</sub> 排出等による地球温暖化の危機的状況は周知の事実。空港問題を検討する際この視点を欠落させるわけにはいかない。

\*石油などの化石燃料資源の枯渇は時間の問題と言われている。航空運輸の将来像を描く上でその見通しをできる限り明らかにしなければならない。

(2) P Iで得られた市民の意見は正当に検討・評価され適切に生かされること

\*P I手法が市民を提案に賛同するよう「巻き込む(=involve)」恣意的なものではない。ステップ3では「新空港建設しかありえない」というトーンになってはいないだろうか。

### 2 現空港で充分

(1) 現空港の余力はあるのではないか

①ステップ2に示された需要予測の怪しさ

②発着回数は容量限界に近くても搭乗率は高くはない

(2) 現空港能力が発着回数で容量限界を迎えても、乗客や航空会社が対処するのは

乗客：近場は新幹線など利用（新幹線の時間短縮は必至）、近隣空港の利用、etc.

会社：利益幅低位路線の減便・廃止で利益が見込まれる路線への転換etc.

### 3 失うものが大きすぎる現空港拡張や新空港建設

(1) 膨大な経費（2500億円～1兆1千億円）～結局は国民負担に

(2) 住環境悪化や自然環境破壊、地球環境への負荷増にも荷担

\*滑走路拡張でも騒音拡大や丘掘削などの自然破壊は避けられない。新設の場合は自然環境への悪影響は予測しがたいし周辺地域への住環境悪化もまた必至。さらに、航空機発着の飛躍的増加は地球温暖化へ手を貸すものとなる。

\*工事期間（8年～14年）中は現空港の有効利用や近隣空港の活用でしのぐそうだが、これだけの長期間をクリアできる見通しがあるのなら拡張・新設しなくても何とかなるということにもなる。

### 4 おわりに

(1) 経済成長至上主義を冷静に見直したい

(2) 航空運輸依存より総合的交通運輸体系の整備を国に求めたい

(3) 今回P Iは、「既存ストックの有効活用」「近隣空港との連携」、「空港能力の抜本的向上」（拡張・新設）の3方策について、容量限界対応に限らず総合的な視点でメリット・デメリットを適切に整理して提示すべきである。

## <参考> P Iレポート・ステップ3に関する意見 (10/20送付)

### はじめに

今春IPCC（気候変動に関する政府間パネル）が出した第4次報告書はCO<sub>2</sub>の排出量即時削減が人類存続にとって喫緊の課題であると警告した。京都議定書以来、我が国でもこの問題は重視されてきたはずにもかかわらず、今回のパブリック・インボルブメントでは一言半句も触れられることはなかった。

とりわけ「ステップ3」では「将来需要への対応策」を扱うわけだから、航空需要増大事態における航空機運用による地球環境への負荷の問題は当然提起されなければならなかった。また、航空燃料についても資源枯渇と価額高騰はつとに想定されていたがこの問題にも一切触れていないのは、「将来需要」を考える上では致命的な手落ちである。

「需要増」に伴う負の問題を明示せず、航空機運航の将来像も描かず、「需要増」は必然だとして「ステップ2」で示した過大な需要予測で、滑走路増設か新空港建設かと県民に選択を迫る「ステップ3」の手法はきわめて公正を欠くと言わねばならない。

### 「将来需要への対応方策の検討」について

2002年12月の国交省交通政策審議会航空分科会の答申では、福岡空港の需要逼迫事態への対応策として①既存ストックの有効活用②近隣空港との連携③新空港および滑走路増設等の抜本的空港能力拡充、について総合的に調査を進める必要があるとした。

ところで「ステップ3」では、①は「ステップ1」で検討済み、②は対応方策として取り上げたものの「対応方策とはなりえない」と切り捨て、事実上③のみを「対応策」として提示している。しかしPIというからには②を「対応策とはなり得ない」と断じて示すべきではなかった。国交省答申の示す3方策について改めて問題点や利不利などを整理（「ステップ3」における③と同様のスタンスで整理）して提起すべきである。

さて、③についてであるが、私たちは滑走路増設も新空港建設も不要・無用と考える。現空港の能力範囲内で運用をすれば足りるという立場である。「このまま何もしないと」増便できない、新路線開設が困難、遅延の慢性化が生じる、などと言う（PIレポート・ステップ3, 3ページ）が、利用者や経済活動にとってさほど支障があるとは思われない。このような不便さは、拡張や新設によって生じる膨大な経済的負担・多大な環境への負荷というデメリットに比べれば何ほどのことがあろう。

仮に発着回数14.5万回の容量限界が到来したとしよう。空港能力が変わらないとしたら乗客や航空会社がそれぞれの思惑で対処するしかない。乗客の場合、どうしても空路という時は空席のある便を選ぶだろうし、大阪程度の近場であれば新幹線など他の交通機関を使えば済む。航空会社はシビアだから利益が薄くなった路線は廃止し利用者の多い路線に変更すること等は容易に想像される。空港までのアクセスでは誰しもがその利便性を認める福岡空港は、拡張せずとも十分な存在意義をもつ。

1兆円以上も投入して山を削り海を埋め立て、建設決定から13年後にしか完成せず、しかもアクセスの劣化は否めない新空港の建設は、「費用対効果」さえ示さない点でもいたずらに幻想をふりまくだけの空論でしかない。論外の方策である。

空論ということでは、拡張案も新空港建設案もその費用負担主体が全く不明であるため

両案のいずれかを選択してもその実現性がきわめて疑わしく（国も自治体も財政難、九州財界も非力）、方策の選択論議そのものが「空論」になりかねない。外資依存の噂も流れたことがあったが、費用負担の見通しささえ提示しないのでは議論にもならないのではないか。

#### 「将来対応方策の評価の視点」について

評価の視点として5項目挙げられているが、先述した、地球環境保全の視点、エネルギー資源の視点は福岡空港の問題を考える上でも不可欠と考える。補充してほしい。

提示された5つの視点について簡単に意見を記す。

##### ①「需給逼迫緩和の視点」について

まず需要予測がおかしい。発着回数の実態は2001年をピークに減少し微増となっている（PIレポート・ステップ3、3ページ）。その原因をきちんと分析し「需要予測」を修正すべきである。また、搭乗率も考慮しなければならない。『数字でみる航空2007』（国交省航空局監修）によれば、最も利用者が多い東京便で2004年60.5%、2005年62.2%である。余力は充分あると言える。

航空行政は、京都議定書遵守、化石燃料消費節減などの課題に應えるべく航空運輸の在り方を見直す必要がある。いたずらに航空需要促進に走らず他の交通機関との調和が図れる途を追求すべきであろう。むろん国交省には早急な総合的交通運輸体系の整備を求めたい。

##### ②「利用者利便性の視点」について

利便性は高いほどありがたいと思えるものだが、利便性を求めすぎるとその代償が高くつく。相対的にみれば現空港に対する利用者の満足度は高い。拡張などではなく改善で足りるのではないか。

##### ③「環境・安全の視点」について

拡張案および新設案の場合、自然環境や住環境にどのような影響が生じるのか丁寧なシミュレーションが不可欠である。「ステップ3」でこの点にほとんど言及していないのは、拡張や新設想定地域住民への配慮を欠いたとしか思えない。自然と地域住民の暮らしにどういったメリット・デメリットが生じるのか想定される限りをすべて整理して示すべきである。

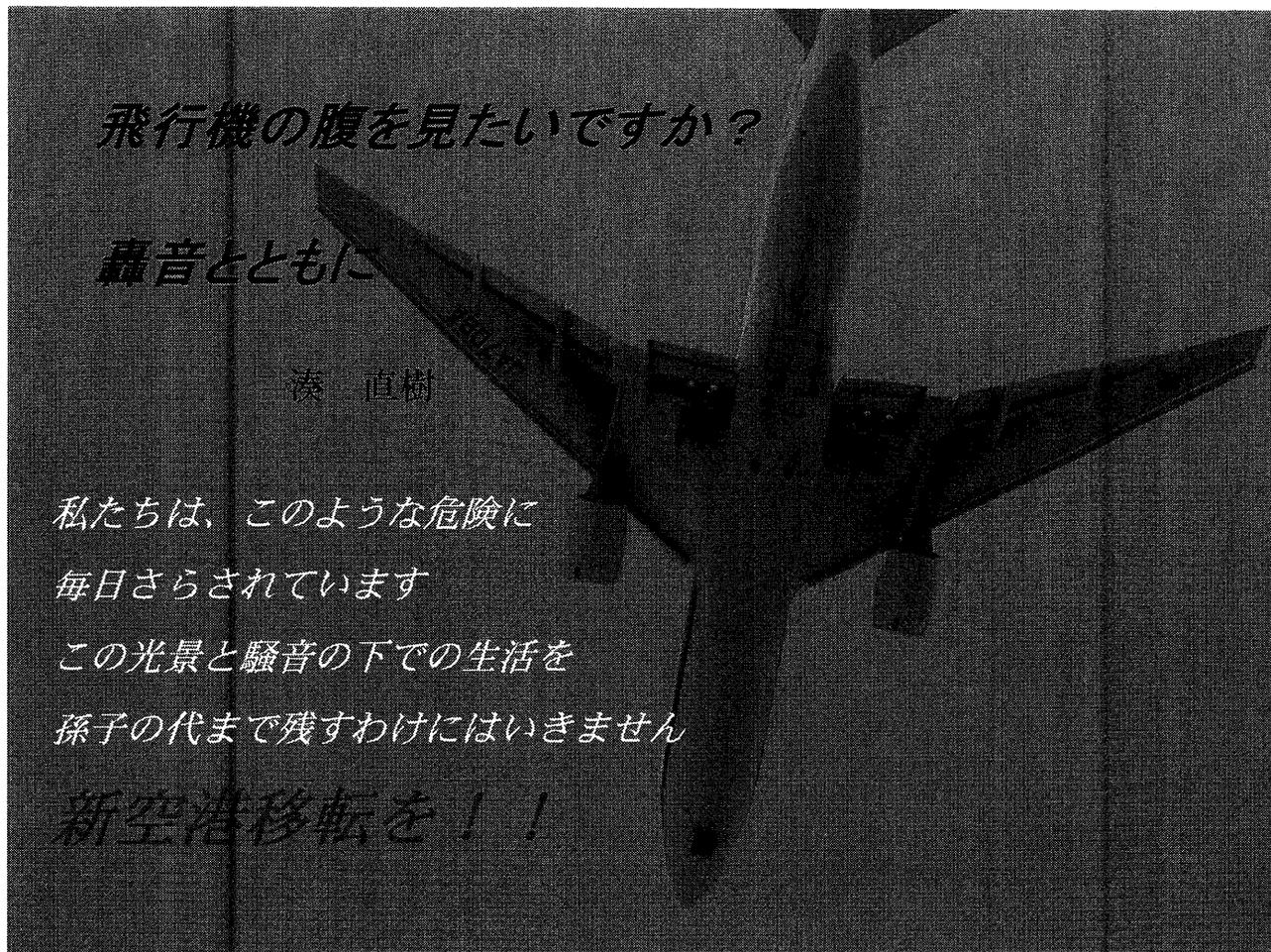
安全の視点の重要性は言うまでもない。特に拡張案では市街地の中の空港であるため細心の配慮が求められる。

##### ④「まちづくりや地域振興の視点」について

空港は周辺住民にとっては迷惑施設である。新設空港の場合、隣接地域は利用者の通過点にすぎず地元住民の雇用拡大や地元産物消費増大なども大して見込めないことは関西空港などの先例をみれば推測できる。税収はあるにせよ地域振興には必ずしもつながらないと思われる。しかし「視点」に据えたからには、先行地の実態をきちんと紹介することを求めたい。

##### ⑤「事業効率性の視点」について

滑走路増設は費用対効果の面だけから考えても事業効率性は悪い。空港新設は、先に触れたように環境に与える負荷の途方もない大きさや投入される事業費の膨大さ、そして航空機運用の将来的な危うさなどから、到底「事業効率」を云々するにも至らないと考える。



I. こんなこと知らなかった！！

借地料(空港面積の 1/3 が借地)

環境対策費(防音工事、移転保障費)

昭和 47 年から、34 年間支払い続けている。

	平成 18 年	昭和 47 年—平成 18 年 総計
借地料	84 億円	1635 億円
環境対策費	92 億円	2760 億円
合計	176 億円	4395 億円

(国土交通省大阪航空局より確認)

「現空港の滑走路増設」では、これらが、さらに増加する

= 国民負担が増加し、いつまでも継続する(将来的には、建設費以上の金額になる)

これらはなくすべき負担と言えます。

## II. 「滑走路増設案」と「新空港建設案」の比較

## a. 滑走路増設案

問題点:(非常に多い)

1. 地域住民への被害(騒音、振動、危険性)がさらに増悪する。
2. 空港用地拡大に伴う自然・環境破壊
3. 建設費 7500 億円/14 年
4. 借地あるいは買取面積増加: 新たな借地料、買取料 上乘せ
5. 環境対策費(騒音、移転保障費など): さらに増加

すなわち、増加分を見込むと

借地料:100 億円/年

+ 環境対策費:110 億円/年

計 210 億円/年を、空港消滅まで払い続けることになる。

このような費用を 誰が? いくら払うのか? 県民負担は? 詳細を公表すべき

利点: 地域住民を犠牲にした上での「利便性」

## b. 海上新空港移転案

問題点:(滑走路増設案に比べると少ない)

1. 市中心部からやや遠くなる
2. 移転先(海)の環境、漁場破壊の可能性
3. 漁業保障費の発生
4. 建設費用 約 1 兆円/13 年

利点:多い

1. 地域住民への被害、危険性の消滅
2. 借地料の消滅(医療・福祉など、他の目的に有効活用できる)
3. 環境対策費の消滅(医療・福祉など、他の目的に有効活用できる)
4. 過去に強制接収され、現在では借地となった土地を地主に返還できる。
5. 空港跡地の開発により、福岡の経済発展を期待できる。
6. 借地料、環境対策費の消滅、空港跡地開発による経済発展などにより、  
結果的には、建設費の差はほとんどなくなるか、むしろプラスバランスに。

総合的に見て、海上新空港建設が、福岡県民に幸福や経済発展をもたらす。



